

## 三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース[1/62]

[発行番号] GOT-D-0061-J

[表題] GOT1000シリーズからGOT2000シリーズへの置き換えのご案内と注意事項

[発行] 2014年2月発行 (2023年11月改訂J版)

[適用機種] GOT1000シリーズ(GT16モデル, GT15モデル) → GOT2000シリーズ(GT27モデル, GT25モデル)

三菱電機グラフィックオペレーションターミナル(GOT)に格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
当社では皆様にご愛顧いただいておりますGOT1000シリーズの後継機種といたしまして、機能・性能とも充実した新シリーズGOT2000シリーズを2013年9月より発売しております。一段と飛躍した新機能の数々を体感いただくために、ぜひGOT2000シリーズへの置き換えをご検討ください。

### 目次

1. お客様へのお願い	3
2. 置き換え機種	3
2.1 GOT本体	3
2.2 通信ユニット	6
2.2.1 通信ユニット置き換え時の注意	8
2.3 オプションユニット	8
2.3.1 オプションユニット置き換え時の注意	9
2.4 オプション	9
2.5 ケーブル	10
2.5.1 Qバス接続ケーブル	10
2.5.2 RS-232ケーブル	10
2.5.3 RS-422ケーブル	10
2.5.4 ネットワークケーブル (Ethernet, MELSECNET/10, CC-Link)	11
2.5.5 その他のケーブル	11
2.6 ソフトウェア	12
2.7 ライセンス	12
3. 仕様比較	13
3.1 H/W仕様	13
3.1.1 H/W仕様比較	13
3.1.2 製品の取付け	19
3.1.3 メモリカード装着方向	26
3.1.4 バッテリ装着方向	27
3.1.5 ユーティリティ仕様比較	29
3.1.6 H/W置き換え時の注意	32
3.1.7 2点押しスイッチ配置時の注意	33
3.2 機能仕様	35
3.2.1 機能仕様比較	35
3.2.2 機能仕様比較詳細	36
3.3 作画ソフトウェア仕様	51
3.3.1 プロジェクトデータ変換前の準備	51
3.3.2 プロジェクトデータ変換手順	51
3.3.3 対応していない作画機能	53

# 三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース [2/62]

[発行番号] GOT-D-0061-J

---

3.3.4	その他の主な変更点.....	53
3.4	SoftGOT仕様 .....	59
3.5	その他 .....	60
3.5.1	PX Developerの「GOT画面生成機能」について.....	60
3.5.2	マニュアル.....	60
改訂履歴	.....	61

## 1. お客様へのお願い

当社では皆様にご愛顧いただいておりますGOT1000シリーズの後継機種といたしまして、機能・性能とも充実した新シリーズGOT2000シリーズを2013年9月より発売しております。一段と飛躍した新機能の数々を体感いただくために、ぜひGOT2000シリーズへの置き換えをご検討ください。

置き換えに対応する機種は、下記2章の「表2-1 GOT2000シリーズへの置き換え推奨機種(本体)一覧」を参照してください。

## 2. 置き換え機種

GOT本体の置き換え推奨機種(本体)一覧では、GOT1000シリーズからGOT2000シリーズへの置き換え時に、仕様上の制約がない、または少ない機種を推奨機種としております。お客様のシステムでのご使用状況によっては、推奨機種以外の選択も可能となる場合もありますので、既存システムの仕様の範囲をご確認いただいた上で機種選択いただくようお願いいたします。

置き換え時の注意事項は、各章および節を参照してください。

### 2.1 GOT本体

GOT1000シリーズからGOT2000シリーズに置き換える場合、パネルカット寸法が同じですので、そのまま置き換えが可能です。なお、以下のGOT2000シリーズを使用する場合、使用する機種や機能によって必要な作画ソフトウェアのバージョンが異なります。対応するバージョンの作画ソフトウェアを準備してください。

表2-1 GOT2000シリーズへの置き換え推奨機種(本体)一覧

使用しているGOT1000シリーズ			置き換えを推奨するGOT2000シリーズ	パネルカット互換性 *3 ○：互換有	対応するソフトウェア GT Designer3(GOT2000)
GT16	GT1695	GT1695M-XTBA *11 [生産終了]	GT2715-XTBA *8	○	Ver.1.112S以降
		GT1695M-XTBD *11 [生産終了]	GT2715-XTBD *8	○	Ver.1.112S以降
GT1685	GT1685M-STBA *11 [生産終了]	GT2712-STBA *8	○	Ver.1.100E以降	
		GT2712-STWA *1*8			
		GT2512-STBA *6*8*12	○	Ver.1.122C以降	
	GT1685M-STBD *11 [生産終了]	GT2712-STBD *8	○	Ver.1.100E以降	
		GT2712-STWD *1*8			
		GT2512-STBD *6*8*12	○	Ver.1.122C以降	
防爆形GT16	GT1685M-STBA-EX *11 [生産終了]	GT2712-STBA-EX *8	-	Ver.1.175H以降	
	GT1685M-STBD-EX *11 [生産終了]	GT2712-STBD-EX *8	-	Ver.1.175H以降	
GT167□	GT1675M-STBA *11 [生産終了]	GT2710-STBA *8	○	Ver.1.100E以降	
		GT2710-STBD *8	○	Ver.1.100E以降	
		GT2710-VTBA *8	○	Ver.1.100E以降	
	GT1675M-STBD *11 [生産終了]	GT2710-VTWA *1*8			
		GT2510-VTBA *6*8	○	Ver.1.112S以降	
		GT2510-VTWA *1*6*8			
	GT1675M-VTBA *11 [生産終了]	GT2710-VTBD *8	○	Ver.1.100E以降	
		GT2710-VTWD *1*8			
		GT2510-VTBD *6*8	○	Ver.1.112S以降	
		GT2510-VTWD *1*6*8			
	GT1675-VNBA *11 [生産終了]	GT2710-VTBA *2*8	○	Ver.1.100E以降	
		GT2710-VTWA *1*2*8			
GT2510-VTBA *2*8		○	Ver.1.112S以降		
GT2510-VTWA *1*2*8					

# 三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース [4/62]

[発行番号] GOT-D-0061-J

使用しているGOT1000シリーズ		置き換えを推奨するGOT2000シリーズ	パネルカット互換性 *3 ○：互換有	対応するソフトウェア GT Designer3(GOT2000)	
GT16	GT167□	GT1675-VNBD *11 [生産終了]	GT2710-VTBD *2*8	○	Ver.1.100E以降
			GT2710-VTWD *1*2*8		
			GT2510-VTBD *2*8	○	Ver.1.112S以降
			GT2510-VTWD *1*2*8		
		GT1672-VNBA *11 [生産終了]	GT2710-VTBA *2*8	○	Ver.1.100E以降
			GT2710-VTWA *1*2*8		
			GT2510-VTBA *2*8	○	Ver.1.112S以降
			GT2510-VTWA *1*2*8		
		GT1672-VNBD *11 [生産終了]	GT2710-VTBD *2*8	○	Ver.1.100E以降
			GT2710-VTWD *1*2*8		
			GT2510-VTBD *2*8	○	Ver.1.112S以降
			GT2510-VTWD *1*2*8		
	GT166□	GT1665M-STBA *11 [生産終了]	GT2708-STBA *8	○	Ver.1.100E以降
			GT2708-STBD *8	○	Ver.1.100E以降
			GT2708-VTBA *8	○	Ver.1.100E以降
		GT1665M-STBD *11 [生産終了]	GT2508-VTBA *6*8	○	Ver.1.112S以降
			GT2508-VTWA *1*6*8		
			GT1665M-VTBD *11 [生産終了]	GT2708-VTBD *8	○
		GT1665M-VTBD *11 [生産終了]	GT2508-VTBD *6*8	○	Ver.1.112S以降
			GT2508-VTWD *1*6*8		
			GT1662-VNBA *11 [生産終了]	GT2708-VTBA *2*8	○
		GT2508-VTBA *2*8		○	Ver.1.112S以降
		GT2508-VTWA *1*2*8			
		GT1662-VNBD *11 [生産終了]	GT2708-VTBD *2*8	○	Ver.1.100E以降
GT2508-VTBD *2*8	○		Ver.1.112S以降		
GT2508-VTWD *1*2*8					
GT1655	GT1655-VTBD [生産終了]	GT2705-VTBD *8	○	Ver.1.130L以降	
		GT2505-VTBD *7*8	○	Ver.1.180N以降	
ハンディGOT	GT1665HS-VTBD[生産終了]	GT2506HS-VTBD *8	-	Ver.1.170C以降	
GT15	GT1595	GT1595-XTBA [生産終了]	GT2715-XTBA *8	○	Ver.1.112S以降
		GT1595-XTBD [生産終了]	GT2715-XTBD *8	○	Ver.1.112S以降
	GT1585	GT1585V-STBA [生産終了]	GT2712-STBA *4*8	○	Ver.1.100E以降
			GT2712-STWA *1*4*8		
			GT2512-STBA *5*6*8*12	○	Ver.1.122C以降
		GT1585V-STBD [生産終了]	GT2712-STBD *4*8	○	Ver.1.100E以降
			GT2712-STWD *1*4*8		
			GT2512-STBD *5*6*8*12	○	Ver.1.122C以降
	GT1585-STBA [生産終了]	GT2712-STBA *4*8	○	Ver.1.100E以降	
		GT2712-STWA *1*4*8			
		GT2512-STBA *5*8*12	○	Ver.1.122C以降	
	GT1585-STBD [生産終了]	GT2712-STBD *4*8	○	Ver.1.100E以降	
GT2712-STWD *1*4*8					
GT2512-STBD *5*8*12		○	Ver.1.122C以降		

# 三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース [5/62]

[発行番号] GOT-D-0061-J

使用しているGOT1000シリーズ		置き換えを推奨するGOT2000シリーズ	パネルカット互換性 *3 ○：互換有	対応するソフトウェア GT Designer3(GOT2000)		
GT15	GT157□	GT1575V-STBA [生産終了]	GT2710-STBA *4*8	○	Ver.1.100E以降	
		GT1575V-STBD [生産終了]	GT2710-STBD *4*8	○	Ver.1.100E以降	
		GT1575-STBA [生産終了]	GT2710-STBA *4*8	○	Ver.1.100E以降	
		GT1575-STBD [生産終了]	GT2710-STBD *4*8	○	Ver.1.100E以降	
		GT1575-VTBA [生産終了]	GT2710-VTBA *4*8	○	Ver.1.100E以降	
			GT2710-VTWA *1*4*8			
			GT2510-VTBA *5*8	○		
			GT2510-VTWA *1*5*8	○		
			GT1575-VTBD [生産終了]			GT2710-VTBD *4*8
			GT2710-VTWD *1*4*8			
		GT2510-VTBD *5*8	○			
		GT2510-VTWD *1*5*8				
		GT1575-VNBA [生産終了]	GT2710-VTBA *2*4*8	○	Ver.1.100E以降	
			GT2710-VTWA *1*2*4*8			
			GT2510-VTBA *2*5*8	○		
			GT2510-VTWA *1*2*5*8			
		GT1575-VNBD [生産終了]	GT2710-VTBD *2*4*8	○	Ver.1.100E以降	
			GT2710-VTWD *1*2*4*8			
			GT2510-VTBD *2*5*8	○		
			GT2510-VTWD *1*2*5*8			
		GT1572-VNBA [生産終了]	GT2710-VTBA *2*4*8	○	Ver.1.100E以降	
			GT2710-VTWA *1*2*4*8			
			GT2510-VTBA *2*5*8	○		
			GT2510-VTWA *1*2*5*8			
	GT1572-VNBD [生産終了]	GT2710-VTBD *2*4*8	○	Ver.1.100E以降		
		GT2710-VTWD *1*2*4*8				
		GT2510-VTBD *2*5*8	○			
		GT2510-VTWD *1*2*5*8				
	GT156□	GT1565-VTBA [生産終了]	GT2708-VTBA *4*8	○	Ver.1.100E以降	
			GT2508-VTBA *5*8	○	Ver.1.112S以降	
			GT2508-VTWA *1*5*8	○		
		GT1565-VTBD [生産終了]	GT2708-VTBD *4*8		○	Ver.1.100E以降
			GT2508-VTBD *5*8			Ver.1.112S以降
			GT2508-VTWD *1*5*8			
		GT1562-VNBA [生産終了]	GT2708-VTBA *2*4*8	○	Ver.1.100E以降	
			GT2508-VTBA *2*5*8		○	
GT2508-VTWA *1*2*5*8						
GT1562-VNBD [生産終了]		GT2708-VTBD *2*4*8	○	Ver.1.100E以降		
		GT2508-VTBD *2*5*8		○		
		GT2508-VTWD *1*2*5*8				

使用しているGOT1000シリーズ			置き換えを推奨する GOT2000シリーズ	パネルカット 互換性 *3 ○：互換有	対応するソフトウェア GT Designer3(GOT2000)
GT15	GT155□	GT1555-VTBD [生産終了]	GT2705-VTBD *4*8	○	Ver.1.130L以降
			GT2505-VTBD *5*7*8	○	Ver.1.180N以降
		GT1555-QTBD [生産終了]	GT2705-VTBD *4*8	○	Ver.1.130L以降
			GT2505-VTBD *5*7*8*10	○	Ver.1.180N以降
		GT1555-QSBD [生産終了]	GT2705-VTBD *2*4*8	○	Ver.1.130L以降
			GT2505-VTBD *2*5*7*8*9*10	○	Ver.1.180N以降
		GT1550-QLBD [生産終了]	GT2705-VTBD *2*4*8	○	Ver.1.130L以降
			GT2505-VTBD *2*5*7*8*9*10	○	Ver.1.180N以降

- \*1 前面のパネル色が白色のモデルになります。白モデルと標準モデル(パネル色黒)との仕様の差異については3.1.1項を参照してください。
- \*2 GOT2000シリーズは、表示色4096色、256色、16色のご用意がなく、65536色への置き換えとなるため、価格帯が異なります。詳細は、「GOT2000シリーズカタログ(L(名)08268)」をご確認ください。
- \*3 パネルカットの互換性はありますが、外形が上下方向に2mmずつ大きくなります。
- \*4 表示部が、マトリックス抵抗膜式から、アナログ抵抗膜式に変更になりますが、2点押しは可能です。ただしスイッチの配置に注意点が有ります。詳細は、3.1.7項を参照してください。
- \*5 表示部が、マトリックス抵抗膜式から、アナログ抵抗膜式に変更になります。2点押しは使用できません。
- \*6 マルチメディア・ビデオ機能をお使いの方は、GT27モデルへ置き換えしてください。
- \*7 GT2505-VTBDは、通信ユニット、オプションユニットを使用できません。
- \*8 CFカードからSDカードへの変更が必要です。
- \*9 GT2505-VTBDは、65536色への置き換えとなります。
- \*10 GT2505-VTBDは、解像度QVGAの用意がなく、VGAへの置き換えになります。  
詳細は、下記のカatalogを参照してください。  
→ GOT2000シリーズカタログ (L(名)08268)
- \*11 機能バージョンG以前のGT16モデルは、バックライトにCCFLを使用しております。  
保守期限は2021年12月末日とさせていただきます。  
詳細については、下記のテクニカルニュースを参照してください。  
→ GT16モデルの部品変更(液晶、ブザー、リセットスイッチ)のお知らせ (GOT-D-0071)
- \*12 GT2512には、人感センサがありません。  
人感センサをご使用される場合は、GT2712への置き換えをご検討ください。

## 2.2 通信ユニット

GOT1000シリーズの通信ユニットは、一部の機種を除いてGOT2000シリーズでそのまま使用できます。以下の表にてご確認ください。

表2-2通信ユニット置き換え機種一覧

◎：そのまま使用可能、△：代替機種あり

通信方式	GOT1000用 ユニット形名	使用可否	備考
Qバス接続	GT15-QBUS	◎	-
	GT15-75QBUSL	◎	外部入出力、音声、プリンタ、ビデオ/RGB入出力機能などのユニットと併用する場合は、次のユニットをご使用ください。 ・GT15-QBUS(Qバス接続1ch)
	GT15-QBUS2	◎	GOT1000シリーズから取り外して使用する場合、GT15-QBUS2から拡張インタフェース中継基板を取り外し、GOT2000シリーズへ取り付けてください。
	GT15-75QBUS2L	◎	外部入出力、音声、プリンタ、ビデオ/RGB入出力機能などのユニットと併用する場合は、次のユニットをご使用ください。 ・GT15-QBUS2(Qバス接続2ch)
RS-232接続	GT15-RS2-9P	◎	-
RS-422接続	GT15-RS4-9S	◎	-

# 三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース [7/62]

[発行番号] GOT-D-0061-J

通信方式	GOT1000用 ユニット形名	使用可否	備考
	GT15-RS4-TE	◎	-
	GT15-RS2T4-9P [生産終了]	△	本体内蔵RS-422/485インタフェース, または, 別売りのRS-422/485シリアル通信ユニット(GT15-RS4-9S)をご使用ください。
MELSECNET/10接続 *1	GT15-J71LP23-25	◎	GOT1000シリーズから取り外して使用する場合, GT15-J71LP23-25から拡張インタフェース中継基板を取り外し, GOT2000シリーズへ取り付けてください。
	GT15-75J71LP23-Z [生産終了]	△	使用できません。MELSECNET/10接続ユニット(GT15-J71LP23-25)に置き換えてください。
	GT15-J71BR13	◎	GOT1000シリーズから取り外して使用する場合, GT15-J71BR13から拡張インタフェース中継基板を取り外し, GOT2000シリーズへ取り付けてください。
	GT15-75J71BR13-Z [生産終了]	△	使用できません。MELSECNET/10接続ユニット(GT15-J71BR13)に置き換えてください。
MELSECNET/H接続	GT15-J71LP23-25	◎	GOT1000シリーズから取り外して使用する場合, GT15-J71LP23-25から拡張インタフェース中継基板を取り外し, GOT2000シリーズへ取り付けてください。
	GT15-J71BR13	◎	GOT1000シリーズから取り外して使用する場合, GT15-J71BR13から拡張インタフェース中継基板を取り外し, GOT2000シリーズへ取り付けてください。
CC-Link IEコントローラ ネットワーク通信ユニット	GT15-J71GP23-SX	◎	GOT1000シリーズから取り外して使用する場合, GT15-J71GP23-SXから拡張インタフェース中継基板を取り外し, GOT2000シリーズへ取り付けてください。
CC-Link IEフィールド ネットワーク通信ユニット	GT15-J71GF13-T2	◎	GOT1000シリーズから取り外して使用する場合, GT15-J71GF13-T2から拡張インタフェース中継基板を取り外し, GOT2000シリーズへ取り付けてください。
CC-Link(ID)接続 Ver.1	GT15-75J61BT13-Z [生産終了]	△	使用できません。GT15-J61BT13に置き換えてください。
CC-Link(ID)接続 Ver.2	GT15-J61BT13	◎	GOT1000シリーズから取り外して使用する場合, GT15-J61BT13から拡張インタフェース中継基板を取り外し, GOT2000シリーズへ取り付けてください。
Ethernet接続	GT15-J71E71-100 [生産終了]	△	本体内蔵インタフェース(Ethernet), またはGT25-J71E71-100をご使用ください。
シリアルマルチドロップ ユニット	GT01-RS4-M	◎	-
CC-Linkインタフェース ユニット	GT11HS-CCL	◎	-
	GT11H-CCL	◎	-

\*1 MELSECNET/HユニットをMELSECNET/10モードで使用してください。詳細は, 2.2.1項を参照してください。



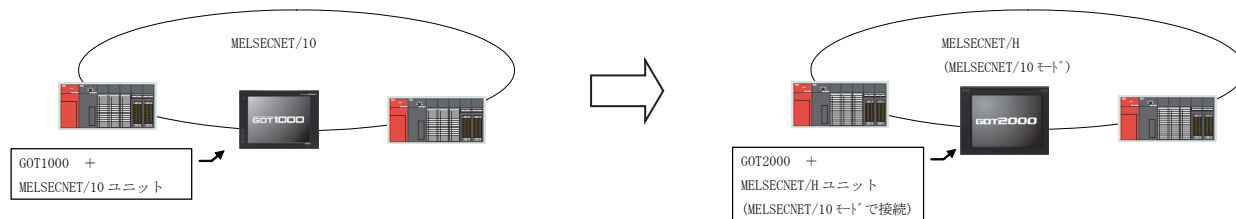
## 2.2.1 通信ユニット置き換え時の注意

(1) MELSECNET/10(PC間光ループ/PC間同軸バス)ネットワークに接続されたGOT1000シリーズをGOT2000シリーズへの置き換えする場合

2.2項記載のMELSECNET/H通信ユニットを使用し、MELSECNET/H通信ユニットをMELSECNET/10モードに設定のうえ、MELSECNET/10に接続してご使用ください。

※詳細は、「GOT2000シリーズ接続マニュアル(三菱電機機器接続編)GT Works3 Version1対応 (SH-081189)」を参照してください。

図2-1 接続するネットワークを変更する置換え構成例参照



## 2.3 オプションユニット

GOT1000シリーズのオプションユニットは、一部の機種を除いてGOT2000シリーズでそのままご使用できます。以下の表にてご確認ください。

表2-3 オプションユニット置き換え機種一覧

◎：そのまま使用可能、△：代替え機種あり、×：使用不可

オプションユニット	GOT1000用 ユニット形名	使用可否	備考
プリンタユニット	GT15-PRN	◎	GT Designer3(GOT2000)Ver.1.105K以降で対応。
マルチメディアユニット	GT16M-MMR [生産終了]	△	GOT2000用ユニット(GT27-MMR-Z)をご使用ください。 ※使用するメモリカードは、CFカードです。
ビデオ入力ユニット	GT16M-V4 [生産終了]	△	GOT2000用ユニット(GT27-V4-Z)をご使用ください。 GT2715でご使用、かつEMC指令に適合させる場合は、ハードウェアバージョンB以降をご使用ください。*1
	GT15V-75V4 [生産終了]		
RGB入力ユニット	GT16M-R2 [生産終了]	△	GOT2000用ユニット(GT27-R2)をご使用ください。
	GT15V-75R1 [生産終了]		
ビデオ/RGB入力 ユニット	GT16M-V4R1 [生産終了]	△	GOT2000用ユニット(GT27-V4R1-Z)をご使用ください。 GT2715でご使用、かつEMC指令に適合させる場合は、ハードウェアバージョンB以降をご使用ください。*1
	GT15V-75V4R1 [生産終了]		
RGB出力ユニット	GT16M-ROUT [生産終了]	△	GOT2000用ユニット(GT27-ROUT)をご使用ください。
	GT15V-75ROUT [生産終了]		
音声出力ユニット	GT15-SOUT	◎	-
CFカードユニット	GT15-CFCD [生産終了]	×	GOT2000シリーズはCFカードが使用できません。 SDカードまたはUSBメモリをご使用ください。
CFカード延長ユニット	GT15-CFEX-C08SET [生産終了]	×	GOT2000シリーズはCFカードが使用できません。 SDカードまたはUSBメモリをご使用ください。
外部入出力ユニット	GT15-DIOR	◎	-
	GT15-DIO		

\*1 GT2715で使用する場合、同梱されているGT16M-V4R1-Z、GT16M-V4-Z、GT16M-R2-ZおよびGT27-IF1000のハードウェアバージョンが、ともにB版以降となっている製品が対象になります。



## 2.3.1 オプションユニット置き換え時の注意

GOTをGOT2000シリーズへ置き換えるにあたり、GOT2000シリーズ用のオプションユニットを使用した場合、ユニットの高さ仕様変更になるものがあります。以下の表にてご確認ください。

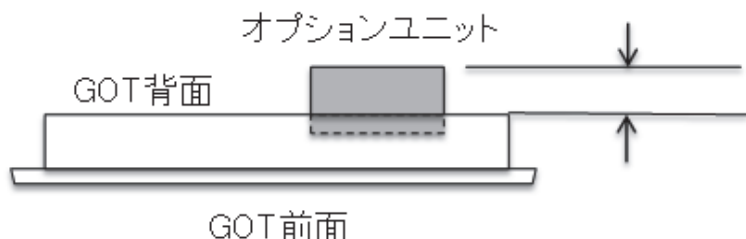


表2-4 オプションユニット高さ仕様一覧

オプションユニット	GT27□□	GT1695	GT1685	GT1675	GT1665
マルチメディアユニット(GT27-MMR-Z)	58.0	-	-	-	-
マルチメディアユニット(GT16M-MMR) [生産終了]	-	33.5	32.0	35.0	37.0
ビデオ入力ユニット(GT27-V4-Z)	44.5	-	-	-	-
ビデオ入力ユニット(GT16M-V4) [生産終了]	-	19.5	18.0	21.0	23.0
RGB入力ユニット(GT27-R2)	20.0	-	-	-	-
RGB入力ユニット(GT16M-R2) [生産終了]	-	19.5	18.0	21.0	23.0
ビデオ/RGB入力ユニット(GT27-V4R1-Z)	44.5	-	-	-	-
ビデオ/RGB入力ユニット(GT16M-V4R1) [生産終了]	-	19.5	18.0	21.0	23.0
RGB出力ユニット(GT27-ROUT)	20.0	-	-	-	-
RGB出力ユニット(GT16M-ROUT) [生産終了]	-	19.5	18.0	21.0	23.0

単位(mm)

## 2.4 オプション

オプションは、GOT2000シリーズ用の製品をご使用ください。一部の機種は、そのままご使用できます。以下の表にてご確認ください。

表2-5 オプション置き換え機種一覧

◎：そのまま使用可能 ×：使用不可

オプションユニット	使用可否	備考
バックライト	×	GOT1000シリーズ用の製品は使用できません。 ※GT27モデル、GT25モデルは、バックライトがLEDに変更されているため、交換できません。
保護シート	×	GOT1000シリーズ用の製品は使用できません。 *3 GOT2000シリーズ用の製品をご使用ください。 ※前面パネルデザイン、USBポート開口位置が違うため。
USB耐環境カバー	×	GOT1000シリーズ用の製品は使用できません。 GOT2000シリーズ用の製品をご使用ください。
耐油カバー	×	GOT1000シリーズ用の製品は使用できません。 GOT2000シリーズ用の製品をご使用ください。
スタンド	◎	ご利用のGOT1000シリーズのサイズと、置き換えるGOT2000シリーズのサイズが同じ場合は使用可能です。
メモ리카ード (CFカード) ■データ保存用	×	SDメモ리카ードに置き換えが必要です ・NZ1MEM-2GBSD ・NZ1MEM-4GBSD ・NZ1MEM-8GBSD ・NZ1MEM-16GBSD
メモ리카ード (CFカード) ■マルチメディアユニット用	◎	GOT1000シリーズ用の製品がそのままご利用いただけます。

[発行番号] GOT-D-0061-J

オプションユニット	使用可否	備考
メモリカードアダプタ	◎	GOT1000シリーズ用の製品がそのままご利用いただけます。
アタッチメント	◎	GOT1000シリーズにてアタッチメントを使用されている場合は、そのまま使用できます。 ※GOT1000からGOT2000への置き換え時は、パネルカット寸法が同じであるためアタッチメントは不要です。
バッテリー(交換用)	×	GT16モデル, GT15モデルのバッテリー(GT15-BAT)は使用できません。 *1*2 GT27モデル, GT25モデル用のバッテリー(GT11-50BAT)をお使いください。 ※GT27モデル, GT25モデルは出荷時にバッテリーを内蔵しています。

\*1 GT1655はバッテリー(GT11-50BAT)を使用していますので、GT27モデル, GT25モデルに流用して使用可能です。

\*2 GT1665HS-VTBDからGT2506HS-VTBDへの置き換え時は、GT15-BATをそのままご利用いただけます。

\*3 GT1665HS-VTBDからGT2506HS-VTBDへの置き換え時は、GT16H-60PSCをそのままご利用いただけます。

※ GOT2000シリーズ用オプション製品の詳細形名、価格は、「GOT2000シリーズカタログ(L(名)08268)」でご確認ください。

## 2.5 ケーブル

### 2.5.1 Qバス接続ケーブル

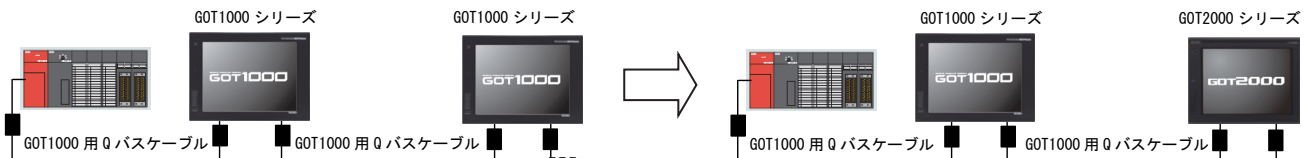
#### (1) 現在ご使用中のケーブルの活用

既設のGOT1000シリーズ用Qバス接続ケーブルは、GOT2000シリーズでそのまま使用できます。

#### (2) 複数台Qバス接続時のGOTの置き換え

GOT1000シリーズをQバス接続にて複数台接続している場合、1台または任意の台数をGOT2000シリーズに置き換えてご使用いただけます。この場合、GOT1000シリーズとGOT2000シリーズの混在が可能となります。

■GOT1000のみの構成 → GOT1000とGOT2000の混在が可能です。



### 2.5.2 RS-232ケーブル

既設のGOT1000用ケーブルは、GOT2000シリーズでそのまま使用できます。

### 2.5.3 RS-422ケーブル

#### (1) GT15モデル用ケーブル

既設のGOT1000用ケーブルでGT15モデルにて使用していたケーブルは、GOT2000シリーズでそのまま使用できません。

#### (2) GT16モデル用ケーブル

GT16モデルで使用していたケーブルの使用可否は、経由する通信インターフェースまたは、通信ユニットにより異なります。以下の表にてご確認ください。シリアル通信ユニット(GT15-RS4-9S, GT15-RS4-TE)で使用していたケーブルは、そのまま使用できます。GT16本体の内蔵RS-422/RS485インターフェースで使用していたケーブルは、GT16-C02R4-9Sを取り外して、そのまま使用できます。(GT16-C02R4-9Sは不要となります。)

表2-6 GT16モデル用RS-422ケーブルの置き換え \*1

既設GOT1000のシステム構成			置き換えGOT2000のシステム構成
(本体内蔵)通信ポート	通信ユニット または 変換ケーブル	ケーブル	
GT16本体内蔵RS-422/485ポート	GT16-C02R4-9S	GT01-C□□R4-25P (または同等品)	使用していたRS-422変換ケーブル(GT16-C02R4-9S)は不要となり、ケーブルはそのまま使用できます。*通信ポートは、GT27、GT25本体内蔵RS-422/485ポートを使用します。
GT16本体拡張インタフェース	GT15-RS4-9S	GT01-C□□R4-25P (または同等品)	使用していた通信ユニット、およびケーブルは、そのまま使用できます。
GT16本体内蔵RS-232ポート	GT15-RS2T4-9P [生産終了]	GT01-C□□R4-25P (または同等品)	使用していた通信ユニット(GT15-RS2T4-9P)は不要となり、ケーブルは、そのまま使用できます。*通信ポートは、GT27、GT25本体内蔵RS-422/485ポートを使用します。

\*1 表中の□には、長さを表す数字が入ります。

## 2.5.4 ネットワークケーブル (Ethernet, MELSECNET/10, CC-Link)

GOT1000シリーズ用ネットワークケーブルは、GOT2000シリーズでそのまま使用することができます。

## 2.5.5 その他のケーブル

GOT1000シリーズ用の以下のケーブルは、GOT2000シリーズでそのまま使用することができます。

表2-7 その他の既設ケーブルの対応一覧

◎：そのまま使用可能，×：使用不可

既設GOT1000用ケーブル		置き換えGOT2000用ケーブル	
ケーブル品名	ケーブル形名	使用可否	備考
プリンタケーブル	プリンタユニット(GT15-PRN)使用時 GT09-C30USB-5P	◎	-
	シリアルプリンタ使用時 ユーザ作成	◎	-
アナログRGBケーブル	GT15-C50VG, または、ユーザ作成	◎	ビデオカメラ、ビジョンセンサ、パソコンなどRGBによる映像出力が可能な機器との接続用および、外部モニタとの接続用
ビデオ表示用同軸ケーブル	ユーザ作成	◎	ビデオカメラ、ビジョンセンサなどNTSC/PALによる映像出力が可能な機器との接続用

## 2.6 ソフトウェア

GOT2000シリーズのプロジェクトデータを作成するには、表示器用画面作成ソフトウェア MELSOFT GT Works3 Version 1.100E以降に同梱されている、MELSOFT GT Designer3 (GOT2000)が必要です。対応バージョンの入手方法につきましては、以下の表にてご確認ください。

表2-8 ソフトウェア対応バージョンと入手方法

ソフトウェア名	対応バージョン	入手方法
表示器画面作成ソフトウェア MELSOFT GT Works3	■日本語版/英語版/中国語版 MELSOFT GT Works3 Version 1.100E以降に同梱されている、 MELSOFT GT Designer3 (GOT2000)	左記のバージョンで対応しています。 古いバージョンをお持ちのお客様は、三菱電機FAサイトに Version 1.100E以降の最新版をダウンロードしてください。
表示器画面作成ソフトウェア MELSOFT GT Works2 MELSOFT GT Designer2	対応していません	GOT2000のプロジェクトデータを作成するには、MELSOFT GT Works3 Version 1.100E以降を購入してください。
FA統合エンジニアリング ソフトウェア MELSOFT iQ Works	■日本語版 Ver.1.71Z以降で対応 ■英語版 Ver.1.77F以降で対応	左記のバージョンで対応しています。 古いバージョンをお持ちのお客様は、三菱電機FAサイトに 最新版をダウンロードしてください。

※ プロジェクトデータの置き換えについては、3.3.1項を参照してください。

## 2.7 ライセンス

下記、GOT1000シリーズ用ライセンスは、GOT2000シリーズで使用できません。お手数ですが、GOT2000シリーズ用ライセンスを購入してください。

表2-9 オプションユニット置き換え機種一覧

×：機種変更要

ライセンス名 (GOT1000用ライセンス形名)	使用可否 (GOT2000用ライセンス形名)	備考
GT SoftGOT用ライセンスキー (GT15-SGTKEY-U) [生産終了]	× (GT27-SGTKEY-U)	GT SoftGOT2000用ライセンスをご使用ください。
パソコンリモート操作機能(Ethernet) ライセンス (GT16-PCRAKEY) [生産終了]	× (GT25-PCRAKEY)	GOT2000用ライセンスをご使用ください。
VNCサーバ機能ライセンス (GT16-VNCSKEY) [生産終了]	× (GT25-VNCSKEY)	GOT2000用ライセンスをご使用ください。
MESインタフェース機能ライセンス (GT16-MESB [生産終了], GT15-MESB48M [生産終了])*1	× (GT25-MESIFKEY)	GOT2000用ライセンスをご使用ください。

\*1 GOT1000シリーズのMESインタフェース機能は、オプション機能ボードによるライセンス認証ですが、GOT2000シリーズのMESインタフェース機能は、ライセンス番号による認証です。

※ ライセンス認証の方法は、「GOT2000シリーズ本体取扱説明書(ユーティリティ編)(SH-081187)」を参照してください。

## 3. 仕様比較

GOT1000シリーズとGOT2000シリーズの仕様の違いについてまとめました。GOT1000シリーズからGOT2000シリーズへの置き換えをご検討の際には、該当機種 of 仕様をご確認ください。

### 3.1 H/W仕様

#### 3.1.1 H/W仕様比較

GOT1000シリーズと、GOT2000シリーズのH/Wの仕様を比較します。

##### (1) ラインアップ

表3-1 ラインアップ比較

◎：対応機種あり，－：対応機種なし

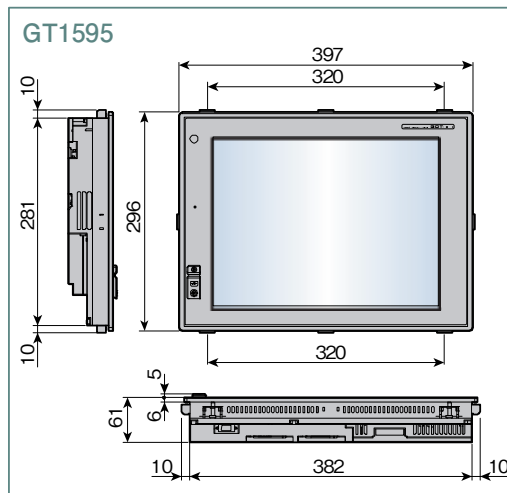
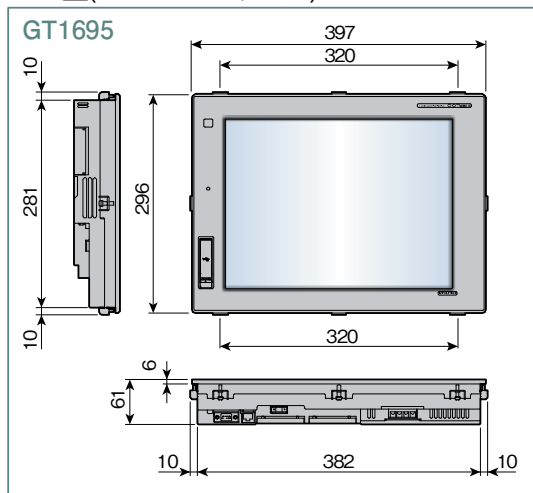
項目	GOT1000シリーズ		GOT2000シリーズ			
	GT16	GT15	GT27 標準モデル	GT27 ホワイトモデル	GT25 標準モデル	GT25 ホワイトモデル
前面パネル色	黒	黒	黒	白	黒	白
液晶サイズ	15型XGA	◎	◎	◎	-	-
	12.1型SVGA	◎	◎	◎	◎	◎
	10.4型SVGA	◎	◎	◎	-	-
	10.4型VGA	◎	◎	◎	◎	◎
	8.4型SVGA	◎	-	◎	-	-
	8.4型VGA	◎	◎	◎	-	◎
	5.7型VGA	◎	◎	◎	-	◎
	5.7型QVGA	-	◎	-	-	-
表示色数	65536色	◎	◎	◎	◎	◎
	4096色	◎	◎	-	-	-
	256色	-	◎	-	-	-
	16色	◎	◎	-	-	-
	モノクロ16階調	-	◎	-	-	-

[発行番号] GOT-D-0061-J

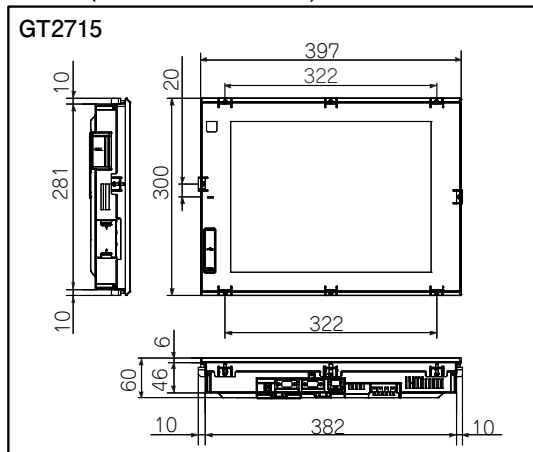
## (2) 外形寸法

外形が上下方向に2mmずつ大きくなりますが、パネルカット寸法、取り付け間隔に変更はありません。  
 パネルカット寸法、取り付け間隔については、3.1.2項をご確認ください。

### ■15型(GOT1000シリーズ)

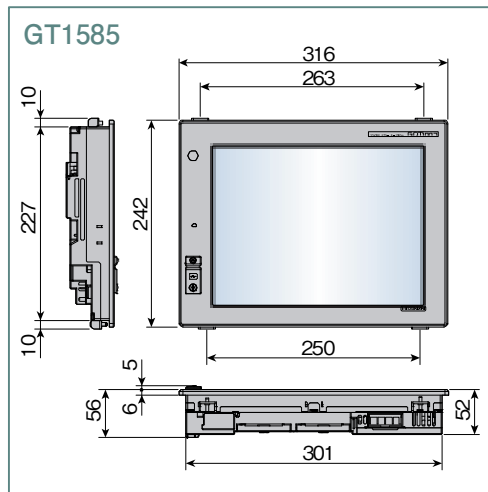
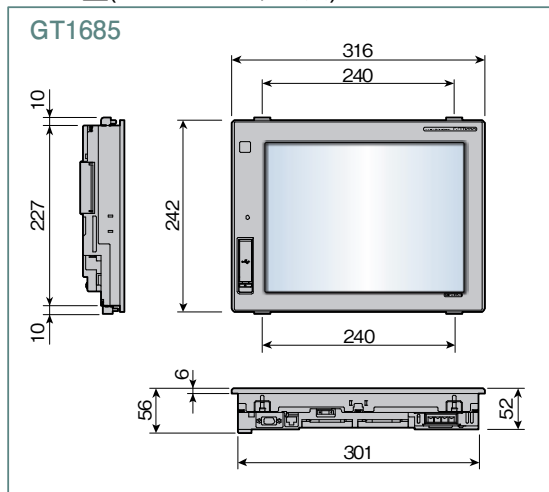


### ■15型(GOT2000シリーズ)

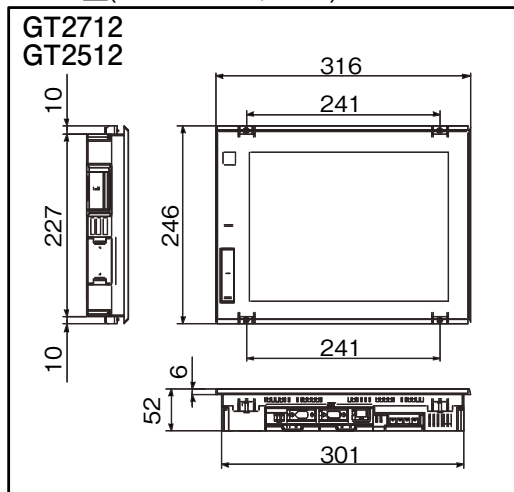


[発行番号] GOT-D-0061-J

## ■12.1型(GOT1000シリーズ)



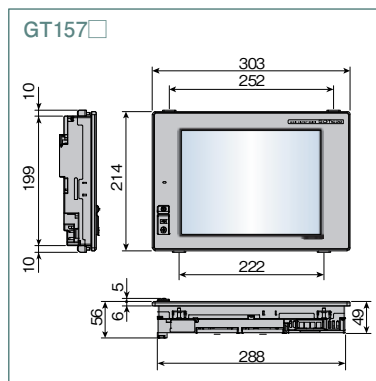
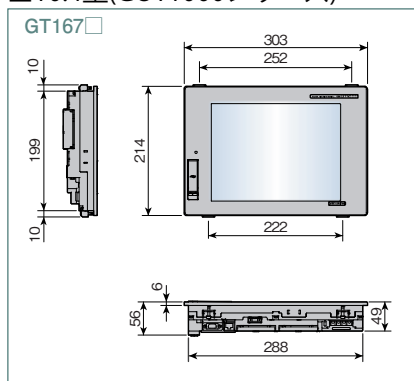
## ■12.1型(GOT2000シリーズ)



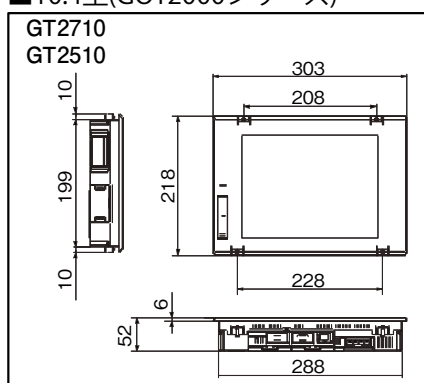


[発行番号] GOT-D-0061-J

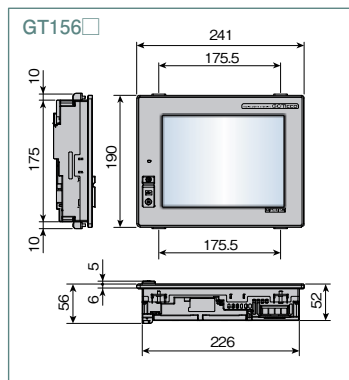
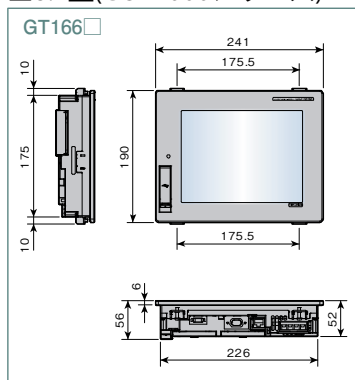
## ■10.4型(GOT1000シリーズ)



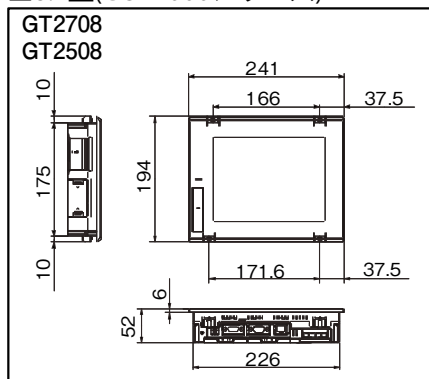
## ■10.4型(GOT2000シリーズ)



## ■8.4型(GOT1000シリーズ)

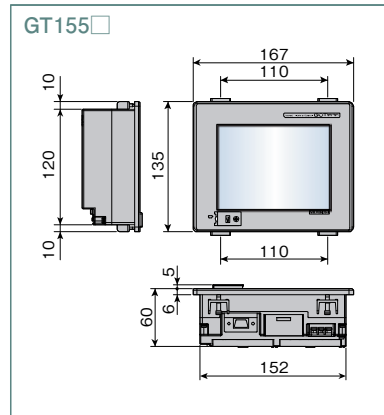
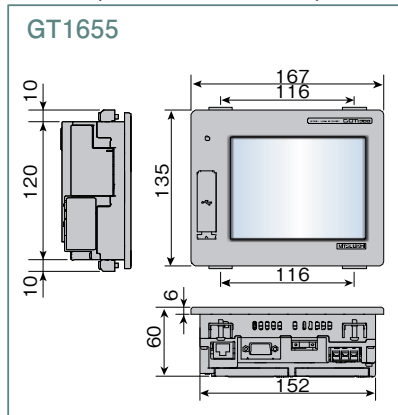


## ■8.4型(GOT2000シリーズ)

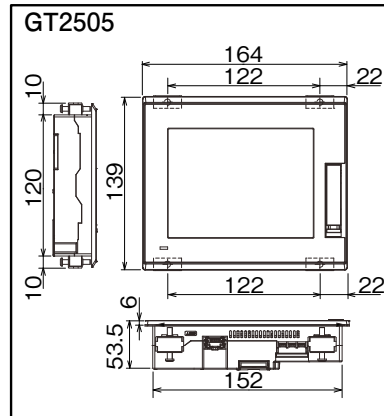
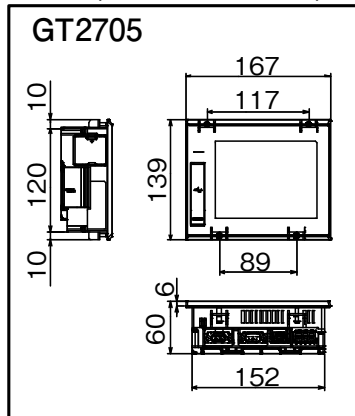


[発行番号] GOT-D-0061-J

## ■5.7型(GOT1000シリーズ)



## ■5.7型(GOT2000シリーズ)



[発行番号] GOT-D-0061-J

## (3) 性能仕様

GOT1000シリーズと、GOT2000シリーズのH/Wの性能仕様を比較します。

表3-2 性能仕様比較

項目		GOT1000		GOT2000			
		GT16	GT15	GT27 標準モデル	GT27 ホワイト モデル	GT25 標準モデル	GT25 ホワイト モデル
表示部	バックライト	冷陰極管方式 *3 ※一部LED方式	冷陰極管方式	LED方式		LED方式	
	輝度調整	4~8段階	4~8段階	32段階		32段階	
タッチパネル	方式	アナログ抵抗膜式	マトリクス 抵抗膜式 ※一部アナログ 抵抗膜式	マルチタッチ対応 アナログ抵抗膜式		アナログ抵抗膜式	
	2点押し	2点押し不可	2点押し可能 ※アナログ抵抗膜式 のものを除く。	2点押し可能 *1		2点押し不可	
標準メモリ 容量	標準メモリ (ROM)	15MB/11MB	9MB/5MB	57MB *4		32MB	
	最大使用可能 メモリ	57MB/53MB (オプション使用時)	57MB/53MB (オプション使用時)	128MB *5 (プロジェクトデータ圧縮による)		80MB (プロジェクトデータ圧縮による)	
メモリカード		CFカード	CFカード	SDカード		SDカード	
メモリカードアクセス制御		背面のCFカードアクセススイッチで制御	背面のCFカードアクセススイッチで制御	SDカードカバーの開閉で制御 カバー閉：アクセス許可 カバー開：アクセス禁止		SDカードカバーの開閉で制御 カバー閉：アクセス許可 カバー開：アクセス禁止	
メモリカード アクセス LED仕様	仕様	LED点灯：CFアクセス時 LED消灯：CF非アクセス時	LED点灯：CFアクセス時 LED消灯：CF非アクセス時	LED点灯：SD装着時 LED消灯：SD非装着時または装着(取出し可能)時 LED点滅：SDアクセス時		LED点灯：SD装着時 LED消灯：SD非装着時または装着(取出し可能)時 LED点滅：SDアクセス時	
	色	赤	赤	緑		緑	
POWER LED色		緑/橙	緑/橙	青/橙		青/橙	
標準I/F	Ethernet	1ch	1ch	1ch		1ch	
	USBホスト	前面：1ch	-	前面：1ch	背面：1ch	前面：1ch	背面：1ch
				背面：1ch		背面：1ch	
	USBデバイス	前面：1ch	前面：1ch	前面：1ch	背面：1ch	前面：1ch	背面：1ch
	RS-232	1ch (Dサブ9ピンコネクタ)	1ch (Dサブ9ピンコネクタ)	1ch (Dサブ9ピンコネクタ)		1ch (Dサブ9ピンコネクタ)	
RS-422/485	1ch (14ピン専用コネクタ)	-	1ch (Dサブ9ピンコネクタ)		1ch (Dサブ9ピンコネクタ)		
拡張ユニットの装着数		最大5台 *2 (3段2スロット)	最大5台 *2 (3段2スロット)	最大3台 (3段1スロット)		最大3台 (3段1スロット)	

\*1 2点押しは可能ですが、スイッチの配置に注意点が有ります。詳細は、3.1.7項を参照してください。

\*2 GT1655, GT155□の装着数は、最大3台です。

\*3 生産時期によっては、LED方式のバックライトを使用している機種があります。

\*4 GT2705は、32MBです。

\*5 GT2705は、80MBです。

## 3.1.2 製品の取付け

### (1) パネルカット寸法

GOT取り付け時のパネルカット寸法は以下の通りです。パネル面に下記寸法で取り付け穴を開けてください。取り付け金具のスペースとして、GT2715は上下左右に各10mm、それ以外は上下に各10mm必要となります。

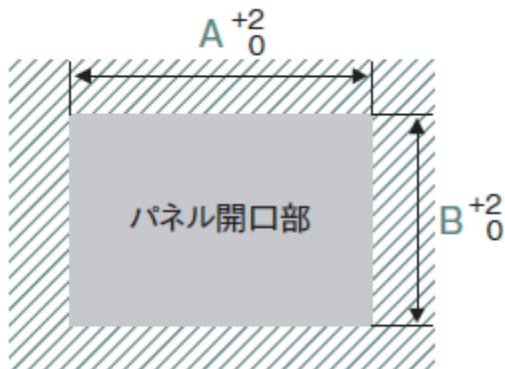


表3-3 パネルカット寸法比較

単位(mm)

画面サイズ	機種				パネルカット寸法	
	GOT1000		GOT2000		A	B
	GT16	GT15	GT27	GT25		
15型	GT1695	GT1595	GT2715	—	383.5	282.5
12.1型	GT1685	GT1585	GT2712	GT2512	302	228
10.4型	GT167□	GT157□	GT2710	GT2510	289	200
8.4型	GT166□	GT156□	GT2708	GT2508	227	176
5.7型	GT1655	GT155□	GT2705	GT2505	153	121

※ 同じ画面サイズに変更する場合、パネルカット寸法は同じです。違う画面サイズに変更する場合は、上記表に従ってパネルカット寸法を変更してください。

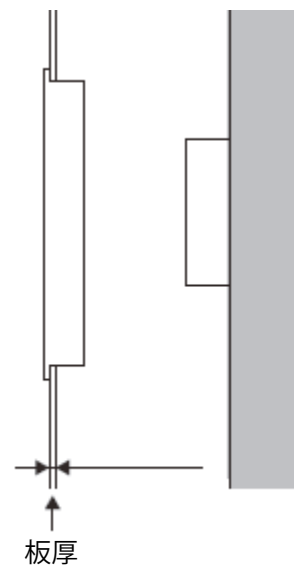
### (2) 取り付け可能な板厚

GOTを取り付け可能なパネルの板厚は以下の通りです。

表3-4 取り付け可能な板厚

単位(mm)

項目	機種			
	GOT1000		GOT2000	
	GT16	GT15	GT27	GT25
取り付け可能な板厚	2~4	2~4	1.6~4	1.6~4



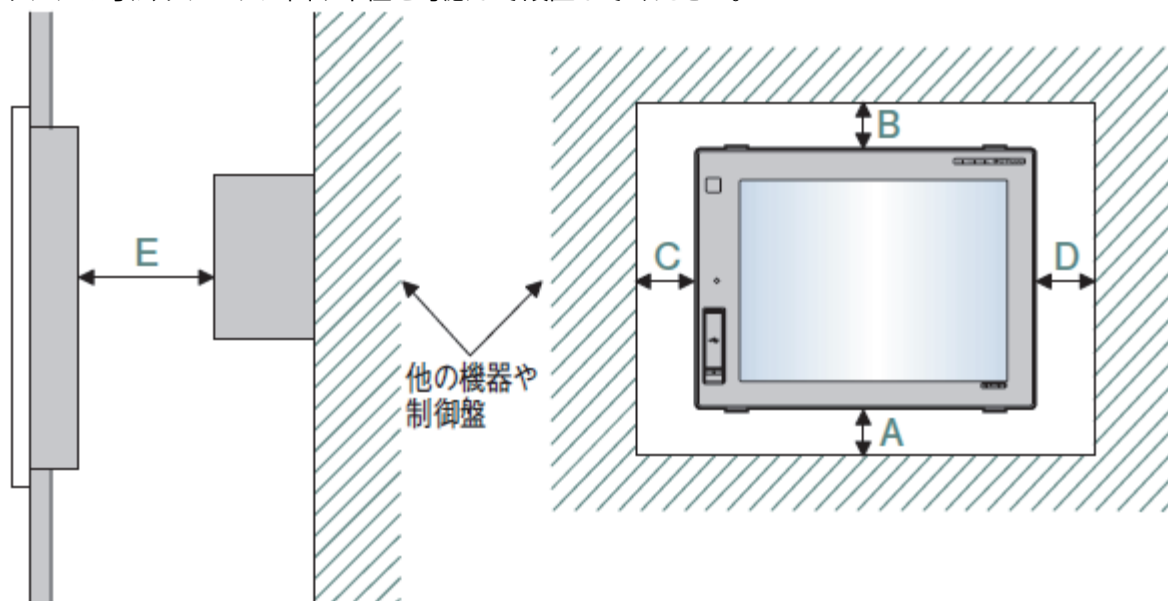
## (3) 製品取付け間隔

GOTを取り付ける場合、下図のように他の機器からの距離が必要です。

GOT1000シリーズからGOT2000シリーズに置き換えた場合、製品取付け間隔がGOT1000シリーズと異なるものがあります。GOTを取り付けする際、十分確認してください。

GOT2000シリーズに置き換え時、マルチチャンネル機能をご使用される場合、E寸法を各通信ユニット/オプション機器の取扱説明書を参照の上、ご確認ください。

GOTで使用するユニットやケーブルによっては、記載されている寸法以上の距離が必要になる場合があります。コネクタの寸法やケーブル曲げ半径を考慮して設置してください。



以下にGOT1000シリーズとGOT2000シリーズの取り付け間隔の違いを記載します。

GOTを取り付けする際、表の寸法に従い、他の機器からの距離を確保してください。

なお、( )内寸法は、放射ノイズを発生する機器(コンタクタなど)や発熱する機器が周囲にない場合に適用されますが、この場合でもユニット本体の周囲温度は55℃以下となる様にしてください。

また、GOT1000シリーズとGOT2000シリーズとでは、A、B方向の取り付け間隔に2mmの違いが発生しています。これはGT27モデル、GT25モデルの外形寸法が上下(A、B)方向に2mmずつ大きくなっているためで、製品取り付け後のGOTと他の機器との間隔は同じです。

# 三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース [21/62]

[発行番号] GOT-D-0061-J

## 1) GT16モデルとGT27モデル, GT25モデルの取付け寸法比較 (15型, 12.1型)

表3-5 GT16モデルとGT27モデル, GT25モデルの取付け寸法比較 (15型, 12.1型)

単位(mm)

項目	GT16		GT27 GT25	
	GT1695M-X	GT1685M-S	GT2715	GT2712 GT2512
A GOTのみ	50以上 (20以上)		48以上 (18以上)	
バス接続ユニット	50以上 (20以上)		48以上 (18以上)	
シリアル通信ユニット	50以上 (20以上)		48以上 (18以上)	
RS-422変換ユニット *5	50以上	51以上	—	—
CC-Link通信ユニット (GT15-J61BT13)	50以上 (20以上)		48以上 (18以上)	
MELSECNET/H通信ユニット(同軸)	50以上 (20以上)	50以上 (24以上)	48以上 *2 (18以上)	48以上 *2 (38以上)
MELSECNET/H通信ユニット(光)	50以上*1 (20以上)		48以上 *6 (18以上)	
CC-Link IEコントローラ ネットワーク通信ユニット	50以上 (20以上)		48以上 (18以上)	
CC-Link IEフィールド ネットワーク通信ユニット	50以上 (20以上)		48以上 (18以上)	
プリンタユニット	50以上 (20以上)		48以上 (18以上)	
ビデオ入力ユニット *6	50以上 *2 (20以上)		48以上 *2 (18以上)	48以上 *2 (38以上)
RGB入力ユニット *6	50以上 *3 (20以上)		48以上 *3 (18以上)	
ビデオ/RGB入力ユニット *6	50以上 *2*3 (20以上)		48以上 *2*3 (18以上)	48以上 *2*3 (38以上)
RGB出力ユニット *6	50以上 *3 (20以上)		48以上 *3 (18以上)	
マルチメディアユニット *6	50以上 *2 (20以上)		48以上 *2 (18以上)	48以上 *2 (38以上)
外部入出力ユニット	50以上 (20以上)		48以上 (18以上)	
音声出力ユニット	50以上 (20以上)		48以上 (18以上)	
B	80以上 (20以上)		78以上 (18以上)	
C (メモリカード未使用時)	50以上 (20以上)		50以上 (20以上)	
(メモリカード使用時)	50以上 (20以上)		50以上 (20以上)	
D	50以上 (20以上)		50以上 (20以上)	
E	100以上 (20以上)		100以上 *4 (20以上)	

\*1 使用するケーブルにより異なります。最寄りの三菱電機システムサービス(株)にお問い合わせください。

表中の数値は参考値です。

\*2 同軸ケーブル3C-2V(JIS C 3501)を使用した場合の値。使用する接続機器に対応するGOT2000シリーズ接続マニュアルを参照してください。

\*3 使用するケーブルにより異なります。使用するケーブルの曲げ半径が、記載値より大きい場合は、その寸法に合わせてください。

\*4 バッテリカバー開閉時は、72以上必要です。

\*5 GOT2000シリーズは使用できません。

\*6 GT25モデルでは使用できません。

# 三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース [22/62]

[発行番号] GOT-D-0061-J

## 2) GT16モデルとGT27モデル, GT25モデルの取付け寸法比較 (10.4型, 8.4型, 5.7型)

表3-6 GT16モデルとGT27モデル, GT25モデルの取付け寸法比較 (10.4型, 8.4型, 5.7型)

単位(mm)

項目	GT16			GT27 GT25			
	GT1675M-S GT1675M-V GT1675-VN GT1672-VN	GT1665M-S GT1665M-V GT1662-VN	GT1655-V	GT2710 GT2510	GT2708 GT2508	GT2705	GT2505
A GOTのみ	50以上 (26以上)	50以上 (36以上)	61以上	48以上 (18以上)	48以上 (29以上)	59以上	50以上 (20以上)
バス接続ユニット	50以上 (26以上)	50以上 (36以上)	50以上	48以上 (18以上)	23以上 (29以上)	48以上	-
シリアル通信ユニット	50以上 (26以上)	50以上 (36以上)	49以上	48以上 (18以上)		47以上	-
RS-422変換ユニット *6	63以上	73以上	-	-			-
CC-Link通信ユニット (GT15-J61BT13)	50以上 (20以上)		50以上 (24以上)	48以上 (18以上)		50以上 (22以上)	-
MELSECNET/H通信ユニット (同軸)	50以上 (33以上)	50以上	64以上	48以上 *2 (45以上)	67以上 *2	81以上 *2	-
MELSECNET/H通信ユニット (光)	50以上 *1 (20以上)		79以上 *1	48以上 *1 (18以上)		77以上 *1	-
CC-Link IEコントローラ ネットワーク通信ユニット	50以上 (20以上)		57以上	48以上 (18以上)		55以上	-
CC-Link IEフィールド ネットワーク通信ユニット	50以上 (20以上)		57以上	48以上 (18以上)		55以上	-
プリンタユニット	50以上 (26以上)	48以上 (18以上)	50以上 (29以上)	48以上(18以上)			-
ビデオ入力ユニット *7	50以上 *2 (20以上)		-	48以上 *2 (45以上)	67以上 *2	-	-
RGB入力ユニット *7	50以上 *3 (20以上)		-	48以上 *3(18以上)		-	-
ビデオ/RGB入力ユニット *7	50以上 *2*3 (20以上)		-	48以上 *2*3 (45以上)	67以上 *2*3	-	-
RGB出力ユニット *7	50以上 *3 (20以上)		-	48以上 *3 (18以上)		-	-
マルチメディアユニット *7	50以上 *2 (20以上)		-	48以上 *2 (45以上)	67以上 *2	-	-
外部入出力ユニット	50以上 (26以上)	50以上 (36以上)	50以上	48以上 (18以上)			-
音声出力ユニット	50以上 (26以上)	50以上 (36以上)	50以上	48以上 (18以上)			-
B	80以上 (20以上)			78以上 (18以上)			80以上 (20以上)
C (メモリカード未使用時)	50以上 (20以上)		50以上 *5 (20以上)	50以上 (20以上)			50以上 (20以上)
(メモリカード使用時)	50以上 (20以上)		100以上	50以上 (20以上)	50以上	100以上	
D	50以上 (20以上)			50以上 (20以上)			
E	100以上 (20以上)			100以上 *4 (20以上)			

\*1 使用するケーブルにより異なります。最寄りの三菱電機システムサービス(株)に問い合わせください。

表中の数値は参考値です。

\*2 同軸ケーブル3C-2V(JIS C 3501)を使用した場合の値。使用する接続機器に対応するGOT2000シリーズ接続マニュアルを参照してください。

\*3 使用するケーブルにより異なります。使用するケーブルの曲げ半径が、記載値より大きい場合は、その寸法に合わせてください。

\*4 バッテリカバー開閉時は、72以上必要です。



[発行番号] GOT-D-0061-J

---

- \*5 バッテリーを使用しない場合の寸法です。バッテリーを使用する場合は、CFカード使用時の寸法が必要です。
- \*6 GOT2000シリーズは使用できません。
- \*7 GT1675-V, GT1672-V, GT1662-V, GT1655-V, GT25モデルでは使用できません。

## 3) GT15モデルとGT27モデル, GT25モデルの取付け寸法比較 (15型, 12.1型)

表3-7 GT15モデルとGT27モデル, GT25モデルの取付け寸法比較 (15型, 12.1型)

単位(mm)

項目	GT15		GT27 GT25	
	GT1595	GT1585	GT2715	GT2712 GT2512
A	GOTのみ		48以上 (18以上)	
	バス接続ユニット		48以上 (18以上)	
	シリアル通信ユニット		48以上 (18以上)	
	RS-422変換ユニット *5	50以上(39以上)	-	
	Ethernet通信ユニット *5		-	
	CC-Link通信ユニット (GT15-75J61BT13-Z) *5		-	
	CC-Link通信ユニット (GT15-J61BT13)		48以上 (18以上)	
	MELSECNET/10通信ユニット (同軸) *5		-	
	MELSECNET/10通信ユニット (光) *5	50以上 *1 (20以上)	-	
	MELSECNET/H通信ユニット (同軸)		48以上 *2 (18以上)	48以上 *2 (38以上)
	MELSECNET/H通信ユニット(光)	50以上 *1 (20以上)	48以上 *1(18以上)	
	CC-Link IEコントローラ ネットワーク通信ユニット		48以上 (18以上)	
	CC-Link IEフィールド ネットワーク通信ユニット		48以上 (18以上)	
	プリンタユニット		48以上 (18以上)	
	ビデオ入力ユニット *6	61以上 *2 (20以上)	48以上 *2 (18以上)	48以上 *2 (38以上)
	RGB入力ユニット *6	50以上 *3 (20以上)	48以上 *3 (18以上)	
	ビデオ/RGB入力ユニット *6	61以上 *2*3	48以上 *2*3 (18以上)	48以上 *2*3 (38以上)
	RGB出力ユニット *6	50以上 *3 (20以上)	48以上 *3 (18以上)	
	マルチメディアユニット *6	-	48以上 *2 (18以上)	48以上 *2 (38以上)
	外部入出力ユニット		48以上 (18以上)	
	音声出力ユニット		48以上 (18以上)	
B	80以上 (20以上)		78以上 (18以上)	
C	(メモリカード未使用時)		50以上 (20以上)	
	(メモリカード使用時)		50以上 (20以上)	
D	50以上 (20以上)		50以上 (20以上)	
E	100以上 (20以上)		100以上 *4 (20以上)	

\*1 使用するケーブルにより異なります。最寄りの三菱電機システムサービス(株)にお問い合わせください。

表中の数値は参考値です。

\*2 同軸ケーブル3C-2V(JIS C 3501)を使用した場合の値。使用する接続機器に対応するGOT2000シリーズ接続マニュアルを参照してください。

\*3 使用するケーブルにより異なります。使用するケーブルの曲げ半径が、記載値より大きい場合は、その寸法に合わせてください。

\*4 バッテリカバー開閉時は、72以上必要です。

\*5 GOT2000シリーズは使用できません。

\*6 GT25モデルでは使用できません。

# 三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース [25/62]

[発行番号] GOT-D-0061-J

## 4) GT15モデルとGT27モデル, GT25モデルの取付け寸法比較 (10.4型, 8.4型, 5.7型)

表3-8 GT15モデルとGT27モデル, GT25モデルの取付け寸法比較 (10.4型, 8.4型, 5.7型)

単位(mm)

項目	GT15			GT27 GT25			
	GT157□	GT156□	GT155□	GT2710 GT2510	GT2708 GT2508	GT2705	GT2505
A GOTのみ	50以上 (20以上)	50以上 (21以上)	49以上	48以上 (18以上)	48以上 (29以上)	59以上	50以上 (20以上)
バス接続ユニット	50以上 (35以上)	50以上 (40以上)	50以上	48以上 (18以上)	23以上 (29以上)	48以上	-
シリアル通信ユニット	50以上 (20以上)	50以上 (21以上)	49以上	48以上 (18以上)		47以上	-
RS-422変換ユニット *5	53以上	58以上	-	-			-
Ethernet通信ユニット *5	50以上 (20以上)			-			-
CC-Link通信ユニット (GT15-J61BT13-Z) *5	50以上 (20以上)		-	-			-
CC-Link通信ユニット (GT15-J61BT13)	50以上 (20以上)		50以上 (24以上)	48以上 (18以上)		50以上 (22以上)	-
MELSECNET/10通信ユニット (同軸) *5	50以上 (20以上)		-	-			-
MELSECNET/10 通信ユニット (光) *5	50以上 *1 (43以上)	50以上 *1 (48以上)	-	-			-
MELSECNET/H通信ユニット (同軸)	50以上 (30以上)	50以上 (35以上)	64以上	48以上 *2 (45以上)	67以上 *2	81以上 *2	-
MELSECNET/H通信ユニット(光)	50以上 *1 (37以上)	50以上 *1 (42以上)	79以上 *1	48以上 *1 (18以上)		77以上 *1	-
CC-Link IEコントローラ ネットワーク通信ユニット	50以上 (23以上)	50以上 (28以上)	57以上	48以上 (18以上)		55以上	-
CC-Link IEフィールド ネットワーク通信ユニット	50以上 (23以上)	50以上 (28以上)	57以上	48以上 (18以上)		55以上	-
プリンタユニット	50以上 (20以上)		50以上 (29以上)	48以上 (18以上)			-
ビデオ入力ユニット *6	75以上 *2	-	-	48以上 *2 (45以上)	67以上 *2	-	-
RGB入力ユニット *6	50以上 *3 (20以上)		-	48以上 *3 (18以上)			-
ビデオ/RGB入力ユニット *6	75以上 *2*3	-	-	48 以 上 *2*3 (45以上)	67 以 上 *2*3	-	-
RGB出力ユニット *6	50以上 *3 (20以上)		-	48以上 *3 (18以上)			-
マルチメディアユニット *6	-	-	-	48以上 *2 (45以上)	67以上 *2	-	-
外部入出力ユニット	50以上 (24以上)	50以上 (29以上)	58以上	48以上 (18以上)			-
音声出力ユニット	50以上 (20以上)			48以上 (18以上)			-
B	80以上 (20以上)			78以上 (18以上)			80以上 (20以上)
C (メモリカード未使用時)	50以上 (20以上)			50以上 (20以上)			50以上 (20以上)
(メモリカード使用時)	50以上 (20以上)		100以上	50以上 (20以上)	50以上	100以上	
D	50以上 (20以上)			50以上 (20以上)			
E	100以上 (20以上)			100以上 *4 (20以上)			

\*1 使用するケーブルにより異なります。最寄りの三菱電機システムサービス(株)にお問い合わせください。  
表中の数値は参考値です。

[発行番号] GOT-D-0061-J

- \*2 同軸ケーブル3C-2V(JIS C 3501)を使用した場合の値。使用する接続機器に対応するGOT2000シリーズ接続マニュアルを参照してください。
- \*3 使用するケーブルにより異なります。使用するケーブルの曲げ半径が、記載値より大きい場合は、その寸法に合わせてください。
- \*4 バッテリカバー開閉時は、72以上必要です。
- \*5 GOT2000シリーズは使用できません。
- \*6 GT25モデルでは使用できません。

### 3.1.3 メモリカード装着方向

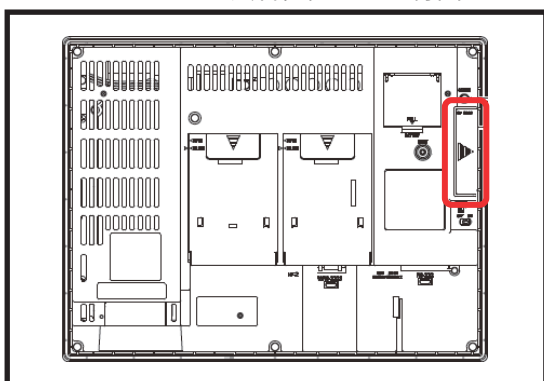
GOT1000シリーズ(GT16モデル, GT15モデル)のメモリカードはCFカードですが, GOT2000シリーズ(GT27モデル, GT25モデル)のメモリカードはSDカードで種類が異なります。また, メモリカード装着方向はGOT1000シリーズでは背面方向からの装着ですが, GOT2000シリーズは側面方向からの装着となり, 装着方向が異なりますので製品取り付け時の寸法などに注意してください。

詳細は, 本テクニカルニュースの3.1.2項, または, 「GOT2000シリーズ本体取扱説明書(ハードウェア編)(SH-081186)」を参照してください。

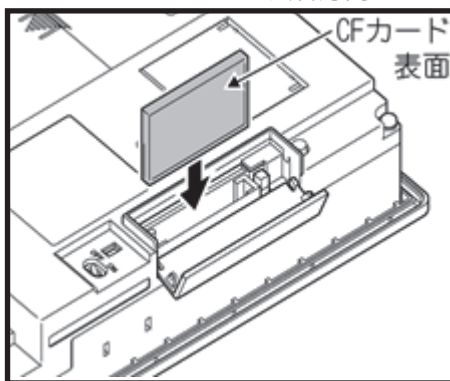
#### (1) GOT1000シリーズ(CFカード)

##### ■GOT1000シリーズ (8.4型以上)

<メモリカード装着位置: GOT背面>

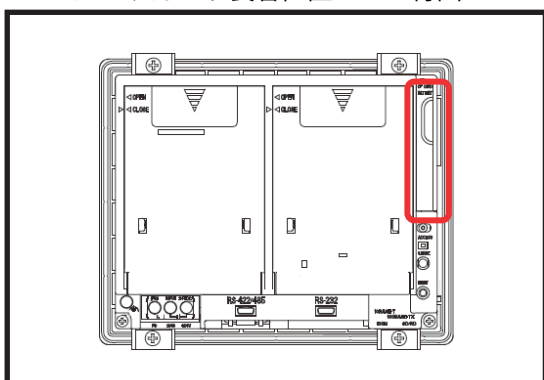


<メモリカードの装着方向>

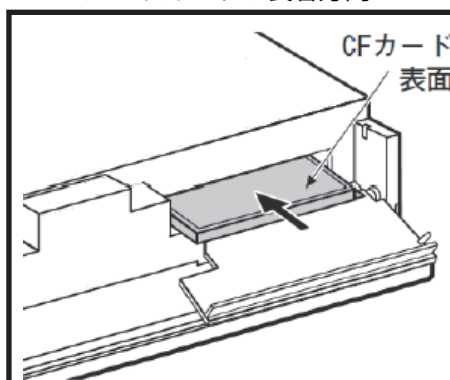


##### ■GT1655, GT155□

<メモリカード装着位置: GOT背面>



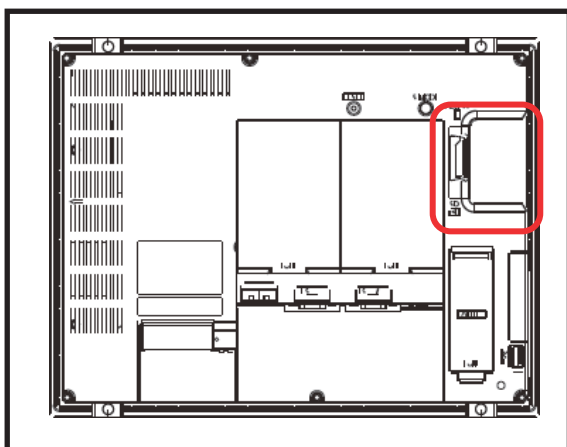
<メモリカードの装着方向>



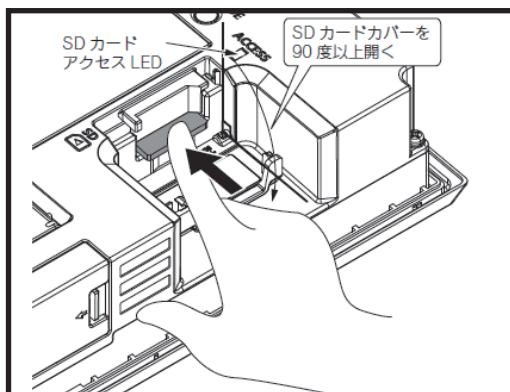
[発行番号] GOT-D-0061-J

## (2) GOT2000シリーズ(SDカード)

<メモ리카ード装着位置：GOT背面>



<メモ리카ードの装着方向>



### 3.1.4 バッテリ装着方向

GOT1000シリーズ(GT16, GT15モデル)のバッテリーは、GT15-BATを使用しますが、GOT2000シリーズ(GT27, GT25モデル)ではGT11-50BATとなり、形名、および、形状が変更になります。また、装着位置、装着方向も変更しておりますので製品取り付け時の寸法などに注意してください。

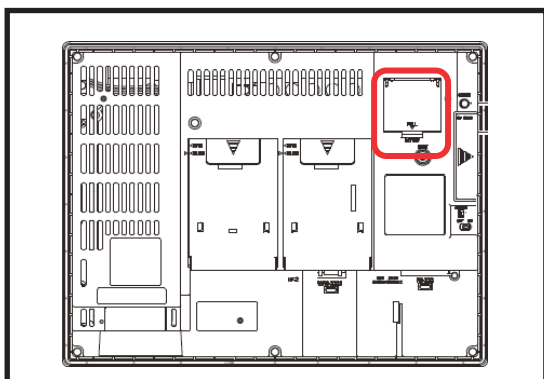
※ GT1655は、GOT2000シリーズと同じ、GT11-50BATを使用しています。

詳細は、「GOT2000シリーズ本体取扱説明書(ハードウェア編)(SH-081186)」を参照してください。

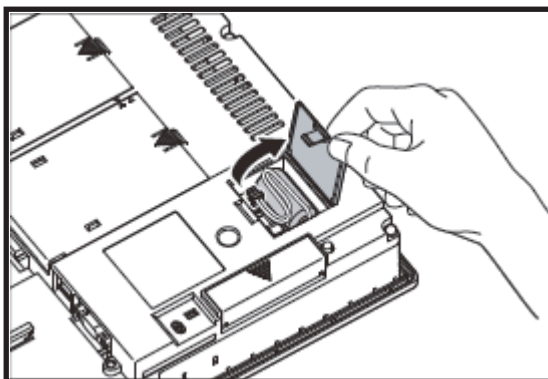
## (1) GOT1000シリーズ

■GT1695, GT1685, GT1675, GT1672の場合

<バッテリー装着位置：GOT背面>

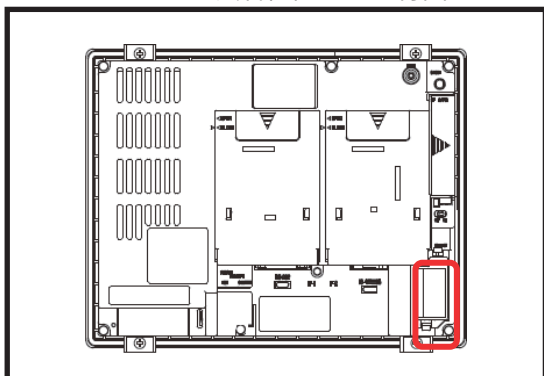


<バッテリーの取り外し>

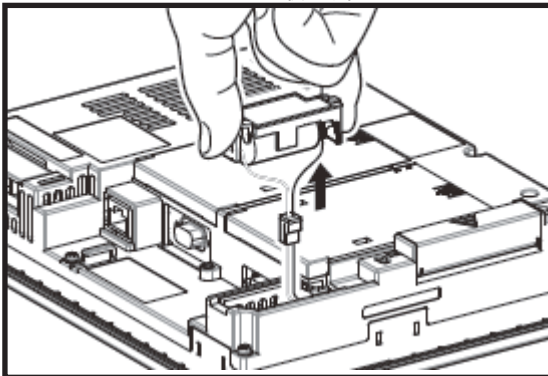


■GT1665, GT1662の場合

<バッテリー装着位置：GOT背面>



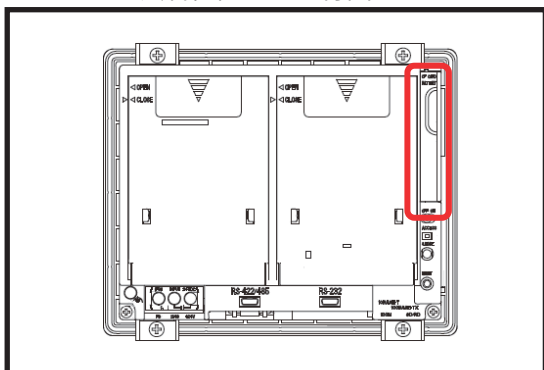
<バッテリーの取り外し>



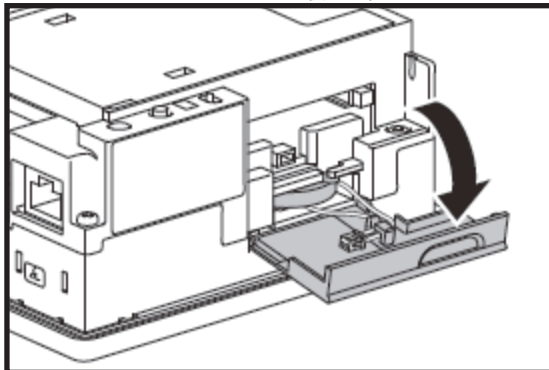
[発行番号] GOT-D-0061-J

## ■GT1655の場合

<バッテリー装着位置：GOT背面CFカードカバー内>



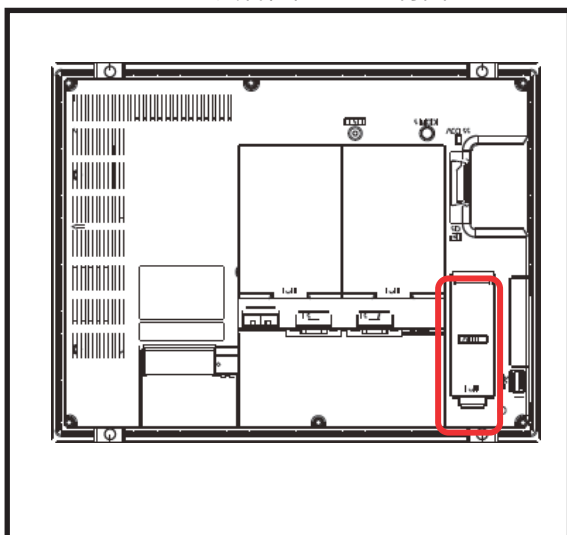
<バッテリーの取り外し>



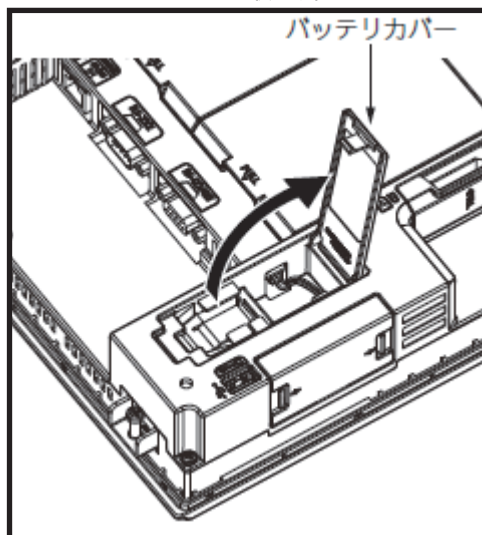
## (2) GOT2000シリーズ

### ■GT2715/GT2712/GT2710/GT2512/GT2510/GT2505の場合

<バッテリー装着位置：GOT背面>

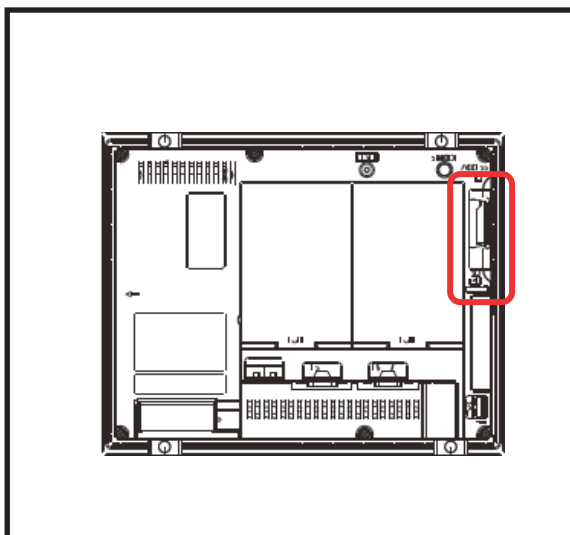


<バッテリーの取り外し>

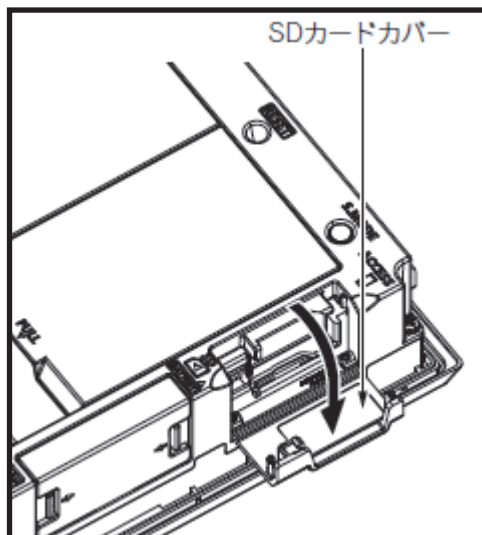


### ■GT2708/GT2705/GT2508の場合

<バッテリー装着位置：GOT背面SDカードカバー内>



<バッテリーの取り外し>



## 3.1.5 ユーティリティ仕様比較

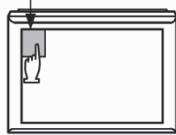

### (1) ユーティリティ呼び出しキー設定の変更

ユーザ作成画面を表示中、ユーティリティ呼び出しキーをタッチするとメインメニューが表示されます。ユーティリティ呼び出しキーの位置および、押下時間のデフォルト設定はGOTのモデルにより違いがありますので、ご注意ください。

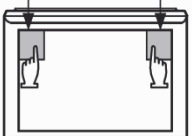
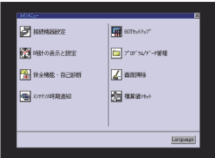
以下に、GOT1000シリーズ(GT16モデル, GT15モデル), GOT2000シリーズ(GT27モデル, GT25モデル)のユーティリティ呼び出しキーと押下時間の工場出荷時の初期値をまとめました。

なお、ユーティリティ呼び出しキーの位置、押下時間の設定は、GOTのユーティリティ、または、画面作成ソフトウェアGT Designer3により変更できます。

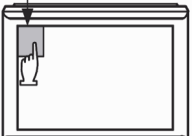

#### ■GT16モデルの工場出荷時のユーティリティ呼び出しキーの位置

形名	ユーティリティ呼び出しキー（工場出荷時の初期値）
GT16	GOTの画面左上隅の1点押し（押下時間：0秒）  <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center; margin-right: 20px;"> <p>ユーティリティ呼び出しキー 左上隅1点タッチ</p>  </div> <div style="text-align: center; margin-right: 20px;"> <p>→</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>メインメニュー</p>  </div> </div>

#### ■GT15モデルの工場出荷時のユーティリティ呼び出しキーの位置

形名	ユーティリティ呼び出しキー（工場出荷時の初期値）
GT1585 GT157□ GT156□ GT155□	GOTの画面左上隅と右上隅の2点同時押し  <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center; margin-right: 20px;"> <p>ユーティリティ呼び出しキー 同時2点タッチ</p>  </div> <div style="text-align: center; margin-right: 20px;"> <p>→</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>メインメニュー</p>  </div> </div>

#### ■GT27モデル, GT25モデルの工場出荷時のユーティリティ呼び出しキーの位置

形名	ユーティリティ呼び出しキー（工場出荷時の初期値）
GT27 GT25	GOTの画面左上隅の1点押し（押下時間：2秒）  <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center; margin-right: 20px;"> <p>ユーティリティ呼び出しキー 左上隅1点タッチ</p>  </div> <div style="text-align: center; margin-right: 20px;"> <p>→</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>メインメニュー</p>  </div> </div>



[発行番号] GOT-D-0061-J

## (2) ユーティリティメインメニューの変更

以下のとおりユーティリティメインメニューの画面イメージ・構成を変更しました。

GOT1000の画面	GOT2000の画面
<p><b>【本体機能設定】</b></p>  <p>2010/08/19 15:39:23 黄色のアイコンは再起動します Language</p>	<p><b>【GOT基本設定】</b></p>  <p>2000/01/01 16:15:31 Language</p>
<p><b>【接続機器設定】</b></p>  <p>2010/08/19 19:07:31 黄色のアイコンは再起動します Language</p>	<p><b>【拡張機能設定】</b></p>  <p>2000/01/01 16:15:35 Language</p>
<p><b>【保全機能】</b></p>  <p>2011/02/16 15:25:56 黄色のアイコンは再起動します Language</p>	<p><b>【メンテナンス】</b></p>  <p>2000/01/01 16:15:39 Language</p>

※GOT1000の「本体機能設定」と「接続機器設定」のメニューは、GOT2000の「GOT基本設定」「拡張機能設定」のいずれかにあります。

[発行番号] GOT-D-0061-J

GOT1000の画面	GOT2000の画面
<p><b>【自己診断】</b></p> <p>本体機能設定   接続機器設定   保全機能   <b>自己診断</b>   データ管理</p> <p>各種診断機能</p> <p>一括自己診断機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> システム</li> <li><input type="checkbox"/> Ethernet状態チェック</li> <li><input type="checkbox"/> 応答チェック</li> <li><input type="checkbox"/> 描画チェック</li> <li><input type="checkbox"/> フォントチェック</li> <li><input type="checkbox"/> ネットワークチェック</li> <li><input type="checkbox"/> I/Oチェック</li> <li><input type="checkbox"/> ネットワーク状態表示</li> </ul> <p>2010/08/19 15:41:15 <span style="background-color: yellow;">黄色のアイコンは再起動します</span> Language</p>	<p><b>【モニタ】</b></p> <p>ユーティリティメニュー</p> <p>GOT基本設定   拡張機能設定   メンテナンス   <b>モニタ</b>   データ管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>システムリッチャー</li> <li>デバイスモニタ</li> <li>シーケンスプログラムモニタ(R回路)</li> <li>シーケンスプログラムモニタ(R回路)</li> <li>FX回路モニタ</li> <li>ネットワークモニタ</li> <li>インターネットユニットモニタ</li> <li>サーボアダプタモニタ</li> <li>Qモーションモニタ</li> <li>REモーションモニタ</li> <li>CNCモニタ</li> <li>シーケンスプログラムモニタ(SFC)</li> <li>モーションSFCモニタ</li> <li>ログビューア</li> <li>ネットワーク状態表示</li> </ul> <p>2000/01/01 16:15:43 Language</p>
<p><b>【データ管理】</b></p> <p>本体機能設定   接続機器設定   保全機能   自己診断   <b>データ管理</b></p> <p>各種データ管理</p> <p>OS・アプリケーション情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> アプリケーション情報</li> <li><input type="checkbox"/> 接続設定情報</li> <li><input type="checkbox"/> レジスタ情報</li> <li><input type="checkbox"/> ログ情報</li> <li><input type="checkbox"/> 操作ログ情報</li> <li><input type="checkbox"/> ハードウェア情報</li> <li><input type="checkbox"/> 特殊アプリケーション情報</li> <li><input type="checkbox"/> バックアップ情報</li> </ul> <p>2008/09/18 10:37:28 <span style="background-color: yellow;">黄色のアイコンは再起動します</span> Language</p>	<p><b>【データ管理】</b></p> <p>ユーティリティメニュー</p> <p>GOT基本設定   拡張機能設定   メンテナンス   モニタ   <b>データ管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アラート情報</li> <li>画像ファイル管理</li> <li>レジスタ情報</li> <li>ログ情報</li> <li>操作ログ情報</li> <li>ファイル管理機能</li> <li>バックアップ管理</li> <li>バックアップリスト機能</li> <li>SRAM管理</li> <li>メモカードフォーマット</li> <li>メモリチェック</li> <li>GOTデータ一括取得</li> </ul> <p>2000/01/01 16:15:47 Language</p>

## 3.1.6 H/W置き換え時の注意

GOT1000シリーズからGOT2000シリーズへのハードウェア置き換え時の注意事項を、以下の表にまとめました。

表3-9 H/W置き換え時の注意事項一覧

項目	GT16→GT27への置き換え	GT15→GT27への置き換え	GT16→GT25への置き換え	GT15→GT25への置き換え
外形寸法	縦方向の外形寸法が上下各2mm長くなります。 (パネルカットは同一寸法ですので、そのまま取り付け可能です。また、取付け間隔もそのまま使用可能です。)			
メモリカード	<b>■データ保存用</b> CFカードからSDカードへの変更が必要です。 <b>■マルチメディアユニット用</b> そのまま使用可能です。			
タッチパネル	タッチパネル方式は同じですが、種類が異なるため、操作感(押し圧)が異なります。	タッチパネル方式が異なるため操作感(押し圧)が異なります。 *1	タッチパネル方式は同じですが、種類が異なるため、操作感(押し圧)が異なります。	タッチパネル方式が異なるため操作感(押し圧)が異なります。 *1
タッチパネル『2点押し』	—	GT27モデルではGT15モデルと同様に2点押しが可能になります。ただし2点押しするスイッチの配置には注意事項があります。(詳細は、3.1.7項を参照してください。)	—	GT25モデルでは、2点押しを使用できません。
タッチパネル『2点押し防止機能』	GT16モデルは2点押し防止機能つきアナログタッチパネルです。GT27モデルは2点押し可能なアナログタッチパネルですので、『2点押し防止機能』をご使用になれません。	—	—	—
RS-422/485コネクタ	GT16モデルの専用コネクタと異なり、GT27モデルはD-Sub9ピンタイプを採用しています。ケーブルのコネクタ変更が必要になります。	—	GT16モデルの専用コネクタと異なり、GT25モデルはD-Sub9ピンタイプを採用しています。ケーブルのコネクタ変更が必要になります。	—
通信ユニット/ オプションユニット	GOT1000用通信ユニット/オプションユニットがそのまま使用可能ですが、ビデオ/マルチメディアオプションはGOT2000用をご使用ください。 通信ユニットに拡張インタフェース中継基板が取り付けられている場合、取り外してからご使用ください。 ※一部の通信ユニット/オプションユニットでGOT2000ではご使用できないものがあります。 (詳細は2.3項を参照してください)			
オプションユニットの装着数	GT16モデル、GT15モデルにはオプションユニットが最大5台(3段2スロット)装着できましたが、GT27モデル、GT25モデルは最大3台(3段1スロット)になります。 *2			

\*1 GT1595のタッチパネル方式は同じですが、種類が異なるため、操作感(押し圧)が異なります。

\*2 GT1655, GT155□の装着数は、最大3台です。

置き換え時の機能の差異については、3.2項を参照してください。

## 3.1.7 2点押しスイッチ配置時の注意

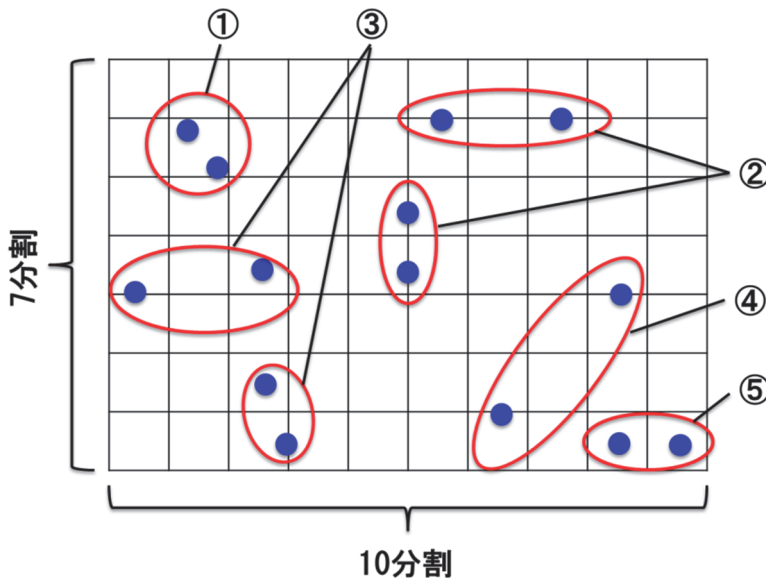
GT27モデルの2点押し用スイッチの配置には、以下の注意点があります。

### (1) 2点押しスイッチの配置

2点押しが可能な配置パターンと不可能な配置パターンは、以下のとおりです。

○：2点押し可能    ×：2点押し不可

2点押しの配置パターン	検出可否	2点押しの検出
①同一セル内	×	2点押しができません。 (正しい座標が検出されない場合があります。)
②同一境界線上	×	2点押しができません。 (未タッチと見なします。)
③境界線と境界線上下(左右)セル	×	2点押しができません。 (未タッチと見なします。)
④同一でない境界線上	○	2点押しが可能です。
⑤境界線上でなく同一でないセル	○	2点押しが可能です。

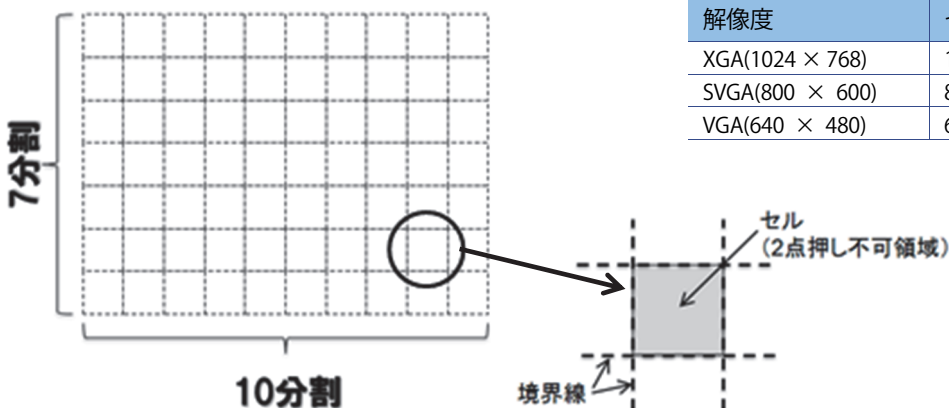


### (2) スイッチの配置に関する注意事項

GT27モデルにおいて、以下のパターンでは2点押しができませんのでご注意ください。

「2点押し不可領域」は、作画ソフトウェアのエディタ上に表示できます。

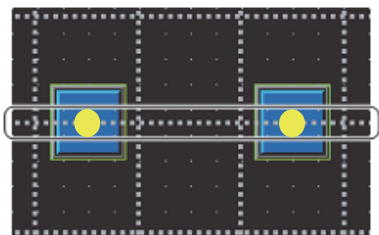
- ① 表示エリアの横方向の解像度を10分割、縦方向の解像度を7分割したセルを「2点押し不可領域」といいます。この領域内での2点押しはできません。



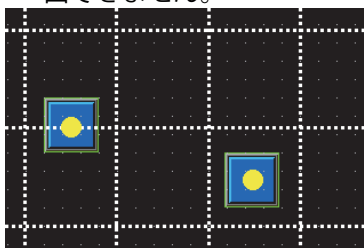
解像度	セルサイズ (横×縦)[dot]
XGA(1024 × 768)	102 × 109
SVGA(800 × 600)	80 × 85
VGA(640 × 480)	64 × 68

サイズは近似値です。

② 「2点押し不可領域」の境界線上を2点同時にタッチしても検出できません。



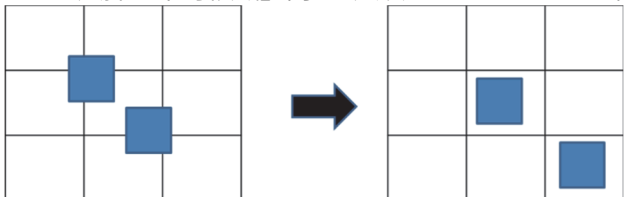
③ 「2点押し不可領域」の境界線上のタッチ, 及び境界線の上下 (もしくは左右) のセルを同時にタッチしても検出できません。



(3) 2点押し制約事項の回避方法

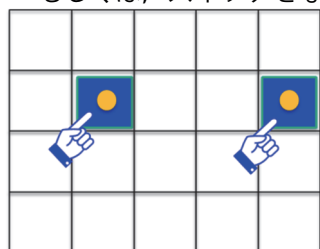
(2)の制約事項を回避するため, 2点押しのスイッチを配置する際は, 以下を考慮の上, 配置してください。

■ 「2点押し不可領域」内に2点以上のスイッチを配置しないようお願いします。

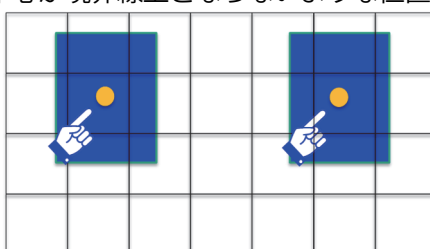


同一セル内のスイッチ配置を避ける

■ 2点押し用のスイッチは「2点押し不可領域」の境界線上をタッチさせないようスイッチをセル内に配置する, もしくは, スイッチをなるべく大きく中心が境界線上とならないような位置に配置するようお願いします。



スイッチをセル内に配置



スイッチを大きくし中心が境界線上とならないよう配置

## 3.2 機能仕様

### 3.2.1 機能仕様比較

GOT1000シリーズの機能のほとんどをGOT2000シリーズでそのまま使用できますが、一部機能については非対応、および機能統合、機能名称を変更しています。詳細は「表3-10 GOT2000機能仕様比較」を参照してください。GOT2000の各機能の詳細はマニュアルを参照してください。

#### (1) GOT2000で対応していない機能

- ・データリスト表示
- ・Aリスト編集
- ・A回路モニタ
- ・Q/L/QnA回路モニタ ※ただし、Q/L回路モニタには対応しています。
- ・メンテナンス時期通知
- ・指紋認証

#### (2) 機能統合および機能名称変更

GOT1000での機能名称	GOT2000での機能名称
アスキー表示, アスキー入力	文字列表示, 文字列入力
基本コメント	コメントグループ
コメントグループ	
ユーザアラーム表示	シンプルアラーム表示
アラーム履歴, アラーム履歴表示	ユーザアラーム監視, アラーム表示(ユーザ)
拡張ユーザアラーム監視, 拡張ユーザアラーム表示	
拡張システムアラーム監視, 拡張システムアラーム表示	システムアラーム監視, アラーム表示(システム)
拡張アラームポップアップ表示	アラームポップアップ表示
レシピ	レシピ
拡張レシピ	トリガアクション
状態監視機能	
トリガアクション	
システムモニタ	デバイスモニタ
Q/L/QnA回路モニタ	シーケンスプログラムモニタ(回路) ※ただしQnACPUには対応していません。
ラダー編集	
SFCモニタ	シーケンスプログラムモニタ(SFC)
ストロークフォント	アウトラインフォント

## 3.2.2 機能仕様比較詳細

### (1) 機能仕様比較詳細

GOT1000シリーズとGOT2000シリーズの機能の差異を以下の表に示します。

また, GOT1000→GOT2000置き換え時の注意事項は「GOT Graphic Ver.1」で置き換えることを前提にしています。

表3-10 GOT2000機能仕様比較

区分	GOT1000での機能名称		GT16	GT15	GT27	GT25		GOT1000→GOT2000置き換え時の注意事項	
						標準モデル	GT2505 ハンディモデル		
図形	直線		●	●	●	●	●	—	
	連続直線		●	●	●	●	●	—	
	長方形		●	●	●	●	●	—	
	多角形		●	●	●	●	●	—	
	円(楕円も含む)		●	●	●	●	●	—	
	円弧(楕円弧も含む)		●	●	●	●	●	—	
	扇		●	●	●	●	●	—	
	目盛り		●	●	●	●	●	—	
	配管		●	●	●	●	●	—	
	ペイント		●	●	●	●	●	—	
	画像ファイル読み込み		●	●	●	●	●	—	
	キャプチャ		●	●	●	●	●	—	
	文字		●	●	●	●	●	—	
	ロゴ文字		●	●	●	●	●	—	
文字	フォント	標準フォント	●	●	●	●	●	・3.3.4(2)項を参照してください。	
		高品位フォント	●	●	●	●	●	—	
		TrueTypeフォント	●	●	●	●	●	—	
		ストロークフォント	●	●	●	●	●	—	
		Windowsフォント	●	●	●	●	●	・「アウトラインフォント」の「アウトラインゴシック」に置き換わります。	
漢字圏		●	●	●	●	●	—		
画面	ベース画面		●	●	●	●	●	—	
	ウィンドウ画面	オーバーラップ	●	●	●	●	●	—	
		スーパーインポーズ	●	●	●	●	●	—	
		キーウィンドウ	●	●	●	●	●	—	
	レポート画面	レポート出力先(PictBridgeプリンタ)	●	●	●	●	×	×	—
		レポート出力先(シリアルプリンタ)	●	●	●	●	●	×	—
		レポート出力先(ファイル)	●	●	●	●	●	●	—
ダイアログウィンドウ		●	●	●	●	●	●	—	

- (バージョン記載なし) : GT27モデルの場合, GT Works3 Ver1.100E以降で対応  
GT25モデルの場合, GT Works3 Ver1.112S以降で対応
- Ver1.\*\*\*\* : 記載バージョンで対応
- × : GOT2000では非対応



# 三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース [37/62]

[発行番号] GOT-D-0061-J

区分	GOT1000での機能名称	GT16	GT15	GT27	GT25 標準 モデル	GT2505	ハンディ モデル	GOT1000→GOT2000置き換え時の 注意事項		
共通の設定	GOT環境設定	画面切り換え/ウィンドウ	●	●	●	●	●	—		
		言語切り換え	●	●	●	●	●	—		
		ダイアログウィンドウ	●	●	●	●	●	—		
		キーウィンドウ	●	●	●	●	●	—		
		システム情報	●	●	●	●	●	—		
		セキュリティ	パスワード認証	●	●	●	●	●	—	
			オペレータ認証	●	●	●	●	●	—	
		操作ログ	●	●	●	●	●	—		
		かな漢字変換	●	●	●	●	●	—		
		起動ロゴ	●	●	●	●	●	—		
		GOTセット アップ	表示/操作	●	●	●	●	●	—	
			時計設定	●	●	●	●	●	—	
			回路モニタ	●	●	●	●	●	●	・詳細は、「回路モニタ機能」の欄を参照してください。
			トランスペアレント	●	●	●	●	●	●	・パソコン-GOT間のモデム接続、RS-232接続には対応していません。
バックアップ/リストア	●		●	●	●	●	●	・ロボットコントローラのバックアップ/リストアはGT Designer3 Version1.108N以降で対応しています。 ・3.3.4(6)項を参照してください。		
USBホスト	●		●	●	●	●	●	—		
SoftGOT-GOTリンク	●	●	●	●	●	●	・3.3.4(6)項を参照してください。			
共通の設定	接続機器の設定	CH(チャンネル設定)	●	●	●	●	●	—		
		Ethernet	●	●	●	●	●	—		
		ルーティング情報	●	●	●	●	●	—		
		ゲートウェイ	通信設定	●	●	●	●	●	—	
			ゲートウェイサーバ	●	●	●	●	●	—	
			ゲートウェイクライアント	●	●	●	●	●	—	
			メール	●	●	●	●	●	—	
			FTPサーバ	●	●	●	●	●	—	
			ファイル転送(FTPクライアント)	●	●	●	●	●	●	・「ファイル転送(FTPクライアント)」から、「ファイル転送」にメニュー名が変更となります。
			Q二重化	●	●	●	●	●	●	・GT Designer3 Version1.160S以降より「MELSEC二重化」にメニュー名が変更となります。 ・3.3.4(10)項を参照してください。
		局番切り換え	●	●	●	●	●	●	—	
		バッファメモリユニットNo.切り換え	●	●	●	●	●	●	—	
			Ver1.122C 以降	Ver1.122C 以降						

- (バージョン記載なし) : GT27モデルの場合, GT Works3 Ver1.100E以降で対応  
GT25モデルの場合, GT Works3 Ver1.112S以降で対応
- Ver1.\*\*\*\* : 記載バージョンで対応
- × : GOT2000では非対応

# 三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース [38/62]

[発行番号] GOT-D-0061-J

区分	GOT1000での機能名称		GT16	GT15	GT27	GT25		GOT1000→GOT2000置き換え時の注意事項		
						標準モデル	GT2505		ハンディモデル	
共通の設定 周辺機器の設定	パソコン(データ転送)		●	●	●	●	●	●	・パソコン-GOT間のモデム接続、RS-232接続には対応していません。	
	バーコード		●	●	●	●	●	●	—	
	RFID		●	●	●	●	●	●	—	
	パソコンリモート操作	パソコンリモート操作(シリアル)	●	●	●	●	●	●	●	・以下の機種は未対応です。GT2705-V
		パソコンリモート操作(Ethernet)	●	×	●	●	●	●	●	・ライセンスが異なりますので、別途ご購入ください。
	VNCサーバ		●	×	●	●	●	●	●	・ライセンスが異なりますので、別途ご購入ください。
	指紋認証		●	●	×	×	×	×	×	・GOT2000では未対応のため、設定は削除されます。
	ビデオ/RGB入力	ビデオ表示機能	●	●	●	×	×	×	×	・以下の機種は未対応です。GT2705-V
		RGB表示機能	●	●	●	×	×	×	×	・以下の機種は未対応です。GT2705-V
	マルチメディア		●	×	●	×	×	×	×	・以下の機種は未対応です。GT2705-V
	操作パネル	操作パネル機能/外部入出力機能	●	●	● Ver1.108N以降	●	×	×	×	—
	RGB出力		●	●	●	×	×	×	×	・以下の機種は未対応です。GT2705-V
	CFカードユニット		●	●	×	×	×	×	×	・GOT2000では未対応のため、設定は削除されます。
	プリンタ	PictBridge	●	●	● Ver1.105K以降	●	×	×	×	・本表の「レポート画面」欄または「ハードコピー」欄を参照してください。
		シリアル	●	●	● Ver1.105K以降	●	●	×	×	・本表の「レポート画面」欄または「ハードコピー」欄を参照してください。
音声出力		●	●	●	●	×	×	×	—	
共通の設定	I/F接続一覧		●	●	●	●	●	●	●	・3.1.6 表3-9中「オプションユニットの装着数」欄を参照してください。
	コメント	基本コメント コメントグループ	●	●	●	●	●	●	●	・「コメントグループ」に置き換わります。 ・「基本コメント」はコメントグループNo.256に置き換わります。また、漢字圏が「日本語」となります。

●(バージョン記載なし) : GT27モデルの場合、GT Works3 Ver1.100E以降で対応  
GT25モデルの場合、GT Works3 Ver1.112S以降で対応

●Ver1.\*\*\*\* : 記載バージョンで対応

× : GOT2000では非対応

# 三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース [39/62]

[発行番号] GOT-D-0061-J

区分	GOT1000での機能名称		GT16	GT15	GT27	GT25		GOT1000→GOT2000置き換え時の注意事項
						標準モデル	GT2505 ハンディモデル	
共通の設定	アラーム	拡張アラーム共通	●	●	●	●	●	・「拡張アラーム共通」から、「アラーム共通設定」に置き換わります。
		拡張ユーザアラーム監視	●	●	●	●	●	・「アラーム履歴」と統合し、「ユーザアラーム監視」に置き換わります。 ・「アラーム履歴表示」の表示項目の「発生」「復旧」「確認」の日時形式で「文字」を使用時は、「時刻(hh:mm)」に置き換わります。 ・「アラーム履歴」で「CSV形式ファイルを同時に作成する」にチェックが入っている場合は、GOT2000の「ユーザアラーム監視」の「アラーム共通設定」で再設定してください。
		拡張システムアラーム監視	●	●	●	●	●	・「システムアラーム監視」に置き換わります。
		拡張アラームポップアップ表示	●	●	●	●	●	・「拡張アラームポップアップ表示」から、「アラームポップアップ表示」に置き換わります
		アラーム履歴	●	●	●	●	●	・「拡張ユーザアラーム監視」と統合し、「ユーザアラーム監視」に置き換わります。詳細は「拡張ユーザアラーム監視」の欄を参照ください。
	ロギング	●	●	●	●	●	●	・ロギングファイル(CSV/Unicodeテキスト)のフォーマットが異なります

●(バージョン記載なし) : GT27モデルの場合、GT Works3 Ver1.100E以降で対応  
GT25モデルの場合、GT Works3 Ver1.112S以降で対応

●Ver1.\*\*\*\* : 記載バージョンで対応

× : GOT2000では非対応

# 三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース [40/62]

[発行番号] GOT-D-0061-J

区分	GOT1000での機能名称		GT16	GT15	GT27	GT25		GOT1000→GOT2000置き換え時の注意事項
						標準モデル	GT2505 ハンディモデル	
共通の設定	レシピ	拡張レシピ共通	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>GOT1000の「拡張レシピ共通」相当の「レシピ共通設定」に置き換わります。</li> </ul>
		拡張レシピ	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>GOT1000の「拡張レシピ」相当の「レシピ」に置き換わります。</li> <li>GOT1000の「拡張レシピ」は、同じレシピNo.に置き換わります。</li> <li>GOT1000の「レシピ」は、GOT1000の拡張レシピの設定No.以降のレシピNo.に置き換わります。</li> <li>以下の機能には対応していません。</li> <li>起動時にレシピファイルがない場合、レシピファイルを作成する</li> <li>ファイルレジスタのファイル名指定</li> <li>GOT2000では、以下のバージョンによりGOT1000のレシピファイルが使用できるようになりました。より前のバージョンをお使いの場合は、GOT2000のフォーマットに修正してください。詳細は、3.2.2(2)項を参照してください。</li> </ul> GT Designer3 Version1.112S
		レシピ	●	●	●	●	●	●

●(バージョン記載なし) : GT27モデルの場合、GT Works3 Ver1.100E以降で対応  
 GT25モデルの場合、GT Works3 Ver1.112S以降で対応

●Ver1.\*\*\*\* : 記載バージョンで対応

× : GOT2000では非対応

# 三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース [41/62]

[発行番号] GOT-D-0061-J

区分	GOT1000での機能名称		GT16	GT15	GT27	GT25		GOT1000→GOT2000置き換え時の注意事項
						標準モデル	GT2505 ハンディモデル	
共通の設定	スクリプト	プロジェクトスクリプト	●	●	●	●	●	<p>[注意事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「内部デバイス(GD/GB)代入遅延解除」の設定が削除されます。GOT2000では、GOT1000の設定内容にかかわらず内部デバイス(GD/GB)の代入結果は即時反映されます。</li> <li>・GOT2000で「画面切り換え時のみ、スクリプト初回動作を実施する」の設定が追加になりました。以下のように置き換わります。 GT Designer3 Version1.103H以前を使用時： 「チェックあり」 GT Designer3 Version1.105K以降を使用時： 「チェックなし」(GOT1000互換)</li> <li>・スクリプトのトリガ種別が以下に置き換わります。 「常時」→「周期100ms」 「ON中」→「ON中周期100ms」 「OFF中」→「OFF中周期100ms」</li> <li>・データ形式が符号付きのデバイスに対してビット演算を行うと、GOT1000と実行結果が異なる場合があります。 符号付きのデバイスに対してビット演算を行うと、意図しない値となる場合があるため、ビット演算を行うデバイスのデータ形式は符号なしに設定してください。</li> </ul>
		画面スクリプト	●	●	●	●	●	

●(バージョン記載なし) : GT27モデルの場合, GT Works3 Ver1.100E以降で対応  
GT25モデルの場合, GT Works3 Ver1.112S以降で対応

●Ver1.\*\*\*\* : 記載バージョンで対応

× : GOT2000では非対応

# 三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース [42/62]

[発行番号] GOT-D-0061-J

区分	GOT1000での機能名称		GT16	GT15	GT27	GT25		GOT1000→GOT2000置き換え時の注意事項	
						標準モデル	GT2505		
共通の設定	スクリプト	オブジェクトスクリプト	●	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>GOT2000で「画面切り換え時のみ、スクリプト初回動作を実施する」の設定が追加になりました。以下のように置き換わります。 GT Designer3 Version1.103H以前を使用時： 「チェックあり」 GT Designer3 Version1.105K以降を使用時： 「チェックなし」(GOT1000互換)</li> <li>データ形式が符号付きのデバイスに対してビット演算を行うと、GOT1000と実行結果が異なる場合があります。 符号付きのデバイスに対してビット演算を行うと、意図しない値となる場合があるため、ビット演算を行うデバイスのデータ形式は符号なしに設定してください。</li> </ul>
	デバイスデータ転送		●	●	●	●	●	●	—
	状態監視		●	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>「状態監視」と統合し、「トリガアクション」に置き換わります。</li> <li>トリガアクションは、「条件監視周期」の設定が無い場合、「条件監視周期」を設定していた場合、「トリガ出別」の設定の「ON中周期」, 「OFF中周期」, または「常時」のいずれかに置き換わります。これに伴い、周期1回目の動作タイミングが変わる可能性があります。</li> </ul>
	トリガアクション		●	●					
	タイムアクション		●	●	●	●	●	●	—
	ハードコピー	PictBridge	●	●	●	●	×	×	—
		ファイル	●	●	●	●	×	×	—
	MESインタフェース		●	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライセンスが異なりますので、別途ご購入ください。</li> <li>「SNTPを使用して時刻同期させる」を使用時は、設定が削除されますので「GOTセットアップ」で再設定してください。</li> <li>データベース「Wonderware Historian」には対応していません。「Wonderware Historian」を使用時は「Oracle 9i」に変換されます</li> </ul>
	部品		●	●	●	●	●	●	—
	音声		●	●	●	●	×	×	—

●(バージョン記載なし) : GT27モデルの場合、GT Works3 Ver1.100E以降で対応  
GT25モデルの場合、GT Works3 Ver1.112S以降で対応

●Ver1.\*\*\*\* : 記載バージョンで対応

× : GOT2000では非対応

# 三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース [43/62]

[発行番号] GOT-D-0061-J

区分	GOT1000での機能名称	GT16	GT15	GT27	GT25		GOT1000→GOT2000置き換え時の注意事項	
					標準モデル	GT2505 ハンディモデル		
オブジェクト	スイッチ	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>GOT2000で対応していない機能の拡張機能スイッチは「ユーティリティ」に置き換わります。</li> <li>[動作設定]タブにて、デバイスを設定していない動作を含む、かつ複数の動作を設定しているスイッチをタッチ時、デバイスを設定していない動作以降の動作が実行されない場合があります。</li> <li>キーコードスイッチの「文字コード」の設定が以下のように置き換わります。 GT Designer3 Version1.106L以前を使用時： 「ASCII」 GT Designer3 Version1.108N以降を使用時： 「指定しない」(GOT1000互換)</li> </ul>	
	ランプ	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライブラリ図形を使用時の「イメージの透過色を有効にする」の設定が削除されます。GOT2000では、GOT1000の設定内容にかかわらず透過色が有効になります。</li> </ul>	
	数値表示/入力	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>実数の端数処理の設定が以下のように置き換わります。 GT Designer3 Version1.105K以前を使用時： 「切り捨て」 GT Designer3 Version1.106L以降を使用時： 「四捨五入」(GOT1000互換)</li> </ul>	
	アスキー表示/入力	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>「文字列表示」「文字列入力」に置き換わります。</li> </ul>	
	リスト表示	データリスト表示	●	●	×	×	×	×
	ヒストリカルデータリスト表示	●	●	●	●	●	●	—
	日付表示/時刻表示	●	●	●	●	●	●	—

●(バージョン記載なし)：GT27モデルの場合、GT Works3 Ver1.100E以降で対応  
GT25モデルの場合、GT Works3 Ver1.112S以降で対応

●Ver1.\*\*\*\*：記載バージョンで対応

×：GOT2000では非対応

# 三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース [44/62]

[発行番号] GOT-D-0061-J

区分	GOT1000での機能名称		GT16	GT15	GT27	GT25		ハンディ モデル	GOT1000→GOT2000置き換え時の 注意事項	
						標準 モデル	GT2505			
オブジェクト	コメント表示	コメント表示 (ビット)	●	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「16ドット高品位明朝」「16ドット高品位ゴシック」を使用時、以下のように置き換わります。</li> <li>・文字サイズ(横×縦)のいずれかが、0.5, 1, 3, 5, 7の場合：GOT1000の機種設定の「16ドット標準フォント」で選択したフォント</li> <li>2, 4, 6, 8の場合：「16ドット高品位明朝」</li> <li>・「12ドット標準」, 「16ドット標準明朝」, 「16ドット標準ゴシック」を使用している場合、コメントグループの高品位設定にかかわらず、標準フォントで表示されます。</li> </ul>	
		コメント表示 (ワード)	●	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「12ドット標準」, 「16ドット標準明朝」, 「16ドット標準ゴシック」を使用している場合、コメントグループの高品位設定にかかわらず、標準フォントで表示されます。</li> </ul>	
		コメント表示(シ ンプル)	●	●	●	●	●	●		
アラーム	拡張ユーザアラーム表示	拡張ユーザアラーム表示	●	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「アラーム履歴表示」と統合し、「アラーム表示(ユーザ)」に置き換わります。</li> <li>・「アラーム履歴表示」の表示項目の「発生」「復旧」「確認」の日時形式で「文字」を使用時は、「時刻(hh:mm)」に置き換わります。</li> </ul>	
		拡張システムアラーム表示	●	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「アラーム表示(システム)」に置き換わります。</li> </ul>	
		アラーム履歴表示	●	●	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「拡張ユーザアラーム表示」と統合し、「アラーム表示(ユーザ)」に置き換わります。、詳細は「拡張ユーザアラーム表示」欄を参照してください。</li> </ul>
		ユーザアラーム表示	●	●	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「シンプルアラーム表示」に置き換わります。</li> <li>・トリガ種別「立上り」「立下り」「周期」は「常時」に置き換わります。</li> <li>・コメント数(複数時)の文字揃えの設定が削除されます。GOT2000では、GOT1000の設定内容にかかわらず「左揃え」になります。</li> <li>・「メモリ保存」には対応していません。「メモリ保存」を使用時は、「ユーザアラーム監視」および「アラーム表示(ユーザ)」に置き換えてください。</li> </ul>
		システムアラーム表示	●	●	●	●	●	●	●	—

●(バージョン記載なし)：GT27モデルの場合、GT Works3 Ver1.100E以降で対応  
GT25モデルの場合、GT Works3 Ver1.112S以降で対応

●Ver1.\*\*\*\*：記載バージョンで対応

×：GOT2000では非対応



# 三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース [45/62]

[発行番号] GOT-D-0061-J

区分	GOT1000での機能名称		GT16	GT15	GT27	GT25		GOT1000→GOT2000置き換え時の注意事項		
						標準モデル	GT2505			
オブジェクト	グラフ	レベル	●	●	●	●	●	●	—	
		パネルメータ	●	●	●	●	●	●	●	・上1/4円, 下1/4円, 左1/4円, 右1/4円は, それぞれ, 上1/6円, 下1/6円, 左1/6円, 右1/6円に置き換わります。表示サイズは変更ありません。
		折れ線グラフ	●	●	●	●	●	●	●	・「軌跡表示」には対応していません。
		トレンドグラフ	●	●	●	●	●	●	●	・「メモリ保存」を設定時は, 「ヒストリカルトレンドグラフ」および「ロギング」に置き換わります。ただしロギング設定数が上限を超える場合は削除されます。
		棒グラフ	●	●	●	●	●	●	●	—
		統計帯グラフ	●	●	●	●	●	●	●	—
		統計円グラフ	●	●	●	●	●	●	●	—
		散布グラフ	●	●	●	●	●	●	●	・「メモリ保存」設定あり, かつ表示条件のトリガ種別「常時」以外の散布グラフは, GOT起動後, 表示条件が成立しないと, データの収集, 表示を行いません。
		ヒストリカルトレンドグラフ	●	●	●	●	●	●	●	—
	部品表示		●	●	●	●	●	●	●	・「部品表示(固定)」を使用時, 表示条件のトリガ種別「立上り」「立下り」は, それぞれ「ON中」「OFF中」に置き換わります。
	部品移動		●	●	●	●	●	●	●	—
	ドキュメント表示		●	●	●	●	●	●	●	—
	画面呼び出し		●	●	●	●	●	●	●	—
ウィンドウ位置		●	●	●	●	●	●	●	—	
キーウィンドウのオブジェクト		●	●	●	●	●	●	●	—	
印刷	数値印字	●	●	●	●	●	●	●	●	・「レポート画面」欄を参照してください。
	コメント印字(ビット)	●	●	●	●	●	●	●	●	・「レポート画面」欄を参照してください。
	コメント印字(ワード)	●	●	●	●	●	●	●	●	・「レポート画面」欄を参照してください。
本体機能	オフセット	●	●	●	●	●	●	●	●	・3.3.4 (8)を参照してください。
	2点押し操作(マルチタッチ)	×	●	●	×	×	×	×	×	・2点押し操作のスイッチの配置に注意事項があります。詳細は, 3.1.7項を参照してください。

●(バージョン記載なし) : GT27モデルの場合, GT Works3 Ver1.100E以降で対応  
GT25モデルの場合, GT Works3 Ver1.112S以降で対応

●Ver1.\*\*\*\* : 記載バージョンで対応

× : GOT2000では非対応

# 三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース [46/62]

[発行番号] GOT-D-0061-J

区分	GOT1000での機能名称	GT16	GT15	GT27	GT25		GOT1000→GOT2000置き換え時の注意事項
					標準モデル	ハンディモデル	
保全機能	デバイスモニタ機能	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「デバイスモニタ」に置き換わりません。</li> <li>・デバイスコメントの表示方法が「シーケンスプログラムモニタ」と同じになりました。</li> </ul>
	Aリスト編集機能	●	●	×	×	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GOT2000では対応していません。</li> <li>・拡張機能スイッチ「Aリスト編集」は「ユーティリティ」に置き換わりします。</li> </ul>
	FXリスト編集機能	●	●	●	●	●	—
	SFCモニタ機能	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「シーケンスプログラムモニタ(SFC)」に置き換わりします。</li> <li>・QnUDVCPUのシーケンスプログラムモニタ(SFC)は、GT Designer3 Version1.103H以降で対応しています。</li> </ul>
	モーションSFCモニタ機能	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Q170MSCPU(-S1)のモーションSFCモニタは、GT Designer3 Version1.103H以降で対応しています。</li> </ul>
	ラダー編集機能	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「シーケンスプログラムモニタ(回路)」に置き換わりします。</li> <li>・3.3.4(6)項を参照してください。</li> </ul>

●(バージョン記載なし) : GT27モデルの場合、GT Works3 Ver1.100E以降で対応  
GT25モデルの場合、GT Works3 Ver1.112S以降で対応

●Ver1.\*\*\*\* : 記載バージョンで対応

× : GOT2000では非対応

# 三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース [47/62]

[発行番号] GOT-D-0061-J

区分	GOT1000での機能名称	GT16	GT15	GT27	GT25		GOT1000→GOT2000置き換え時の注意事項		
					標準モデル	GT2505			
保全機能	回路モニタ機能	●	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ QnACPU,ACPU, QCPU(A モード), QSCPU, モーションコントローラ CPU(A シリーズ), CNC C6/C64と接続時</li> <li>・ GOT2000では対応していません。</li> <li>・ 拡張機能スイッチ「回路モニタ」は「シーケンスプログラムモニタ(回路)」に置き換わりますが、回路表示には対応していません。</li> <li>・ QCPU, LCPU,モーションコントローラ(Q シリーズ), CNC C70と接続時</li> <li>・ 拡張機能スイッチ「回路モニタ」は「シーケンスプログラムモニタ(回路)」に置き換わりますが、QnPHCPU,QnUDPVCPUは回路表示に対応していません。</li> <li>・ GXWorks2が「ラベルを使用する」プロジェクトには対応していません。</li> <li>・ [GOTセットアップ] -[回路モニタ]のデータ保存先で「C:内蔵フラッシュメモリ」を指定できません。</li> <li>・ [GOTセットアップ] -[回路モニタ]の優先表示コメントには対応していません。</li> <li>・ 3.3.4(6)項を参照してください。</li> <li>・ FXCPUと接続時</li> <li>・ 拡張機能スイッチ「回路モニタ」は「シーケンスプログラムモニタ(回路)」に置き換わります。「FX 回路モニタ」に再設定してください。</li> </ul>	
	インテリジェントユニットモニタ機能	●	●	●	●	●	●	—	
	Qモーションモニタ機能	●	●	●	●	●	●	●	—
	サーボアンプモニタ機能	●	●	●	●	●	●	●	—
	ネットワークモニタ機能	●	●	●	●	●	●	●	—
	CNCモニタ機能	●	●	●	●	●	×	×	—
					Ver1.117X以降	Ver1.122C以降			
CNCデータ入出力機能	●	●	●	●	●	×	×	—	
				Ver1.117X以降	Ver1.122C以降				
CNC加エプログラム編集機能	●	●	●	●	●	×	×	—	
				Ver1.117X以降	Ver1.122C以降				

●(バージョン記載なし)：GT27モデルの場合、GT Works3 Ver1.100E以降で対応  
GT25モデルの場合、GT Works3 Ver1.112S以降で対応

●Ver1.\*\*\*\* ：記載バージョンで対応

×：GOT2000では非対応

# 三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース [48/62]

[発行番号] GOT-D-0061-J

区分	GOT1000での機能名称	GT16	GT15	GT27	GT25		GOT1000→GOT2000置き換え時の注意事項	
					標準モデル	GT2505 ハンディモデル		
保全機能	バックアップ/リストア機能	●	●	●	●	●	詳細は「GOT環境設定」－「バックアップ/リストア」欄を参照してください。	
	MELSEC-Lトラブルシュート機能	●	×	●	●	●	－	
	ログビューア機能	●	×	●	●	●	－	
	メンテナンス時期通知機能	●	●	×	×	×	×	・ GOT2000では対応していません。 ・ 拡張機能スイッチ「メンテナンス時期通知」は「ユーティリティ」に置き換わります。
	モーションプログラム(SV43)編集	●	×	×	×	×	×	・ GOT2000では対応していません。 ・ 拡張機能スイッチ「モーションプログラム(SV43)編集」は「ユーティリティ」に置き換わります。
	モーションプログラム(SV43)入出力	●	×	×	×	×	×	・ GOT2000では対応していません。 ・ 拡張機能スイッチ「モーションプログラム(SV43)入出力」は「ユーティリティ」に置き換わります。

- (バージョン記載なし) : GT27モデルの場合, GT Works3 Ver1.100E以降で対応  
GT25モデルの場合, GT Works3 Ver1.112S以降で対応
- Ver1.\*\*\*\* : 記載バージョンで対応
- × : GOT2000では非対応

(2) レシピ, 拡張レシピのレシピファイル(CSV/Unicodeテキスト)について  
 GOT1000とGOT2000では, レシピファイル(CSV/Unicodeテキスト)のフォーマットが異なります。  
 GOT1000のレシピファイル(CSV/Unicodeテキスト)をGOT2000で流用する場合は, GOT2000のフォーマットに合わせて修正してください。

[発行番号] GOT-D-0061-J

1) レシピの場合

- ① GOT2000シリーズ用のプロジェクトデータに変換後、レシピを実行してください。
- ② 指定のドライブにGOT2000のレシピファイル(CSV/Unicodeテキスト)が生成されます。
- ③ ②のレシピファイルにGOT1000レシピファイルのデバイス値の部分を実行したGOT2000レシピファイルにコピーしてください。

・ GOT1000レシピファイル

:DATE	2014/1/31 12:38
:GROUP No.	1
:GROUP NAME	RECIPE1
:DEVICE	8
ITEM NAME	VALUE
	234
	421
	52
	-23
	534
	-3
	32
	0

この値をGOT2000レシピファイルにコピー

・ GOT2000レシピファイル(レコード数：1)

:GT2K_RECIPE	0				
:RECIPE_ID	1				
:RECIPE_NAME	RECIPE1				
:DEVICE_NUM	8				
:RECORD_NUM	1				
:DATE_ORDER	YYYY/MM/DD hh:mm:ss				
:LOCAL_TIME	GMT+09:00				
:TIME_INF_ORDER	L				
	DEV_COMMENT	DEV_TYPE	DISP_TYPE	DEV_SIZE	1
:RECORD_NAME					
:RECORD_ATTR					
:UPDATE					2014/1/31 12:38
1		BIN16	DEC		234
2		BIN16	DEC	1	421
3		BIN16	DEC	1	52
4		BIN16	DEC	1	-23
5		BIN16	DEC	1	534
6		BIN16	DEC	1	-3
7		BIN16	DEC	1	32
8		BIN16	DEC	1	0

# 三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース [50/62]

[発行番号] GOT-D-0061-J

## 2) 拡張レシピの場合

- ① GOT2000シリーズ用のプロジェクトデータに変換後、レシピを実行してください。
- ② 指定のドライブにGOT2000のレシピファイル(CSV/Unicodeテキスト)が生成されます。
- ③ ②のレシピファイルにGOT1000レシピファイルのデバイス値の部分をGOT2000レシピファイルにコピーしてください。
- ④ GOT本体で使用する場合は、以下のいずれかの方法でCSV/Unicodeテキストファイル形式からバイナリファイル形式に変換してください。
  - ・GOT本体のユーティリティで変換
  - ・GT Designer3(GOT2000)で変換
  - ・データ転送ツールで変換

・GOT1000拡張レシピファイル(レコード数：2)

:ARECIPE						
:ARECIPE_No	1					
:ARECIPE_NAME	RECIPE1					
:DEVICE_NUM	8					
:RECORD_NUM	2					
	DEV_COMMENT	DEV_TYPE	DISP_TYPE	DEV_SIZE	1	2
:RECORD_NAME					PRO1	PRO2
:RECORD_ATTR					P	
:UPDATE					2014/1/31 10:30:15	2014/1/31 10:30:15
1	STD A	BIN16	DEC	2	454	400
2	CNT1	BIN16	UNSIGNED_DEC	2	10000	40000
3	LINE A	BIN16	DEC	2	10000	40000
4	LINE B	BIN16	DEC	2	10000	40000
5	LINE C	BIN16	DEC	2	10000	40000
6	CNT2	BIN32	DEC	4	120000000	200000000
7	TARGET1	BIN32	DEC	4	100000000	500000000
8	TARGET2	BIN32	UNSIGNED_DEC	4	200000000	600000000

この値をGOT2000レシピファイルにコピー

・GOT2000レシピファイル

:GT2K_RECIPE	0					
:RECIPE_ID	1					
:RECIPE_NAME	RECIPE1					
:DEVICE_NUM	8					
:RECORD_NUM	2					
:DATE_ORDER	YYYY/MM/DD hh:mm:ss					
:LOCAL_TIME	GMT+09:00					
:TIME_INF_ORDER	L					
	DEV_COMMENT	DEV_TYPE	DISP_TYPE	DEV_SIZE	1	2
:RECORD_NAME					PRO1	PRO2
:RECORD_ATTR					P	
:UPDATE					2014/1/31 10:30:15	2014/1/31 10:30:15
1	STD A	BIN16	DEC	1	454	400
2	CNT1	BIN16	UNSIGNED_DEC	1	10000	40000
3	LINE A	BIN16	DEC	1	10000	40000
4	LINE B	BIN16	DEC	1	10000	40000
5	LINE C	BIN16	DEC	1	10000	40000
6	CNT2	BIN32	DEC	2	120000000	200000000
7	TARGET1	BIN32	DEC	2	100000000	500000000
8	TARGET2	BIN32	UNSIGNED_DEC	2	200000000	600000000

## 【注意事項】

GOT2000シリーズは、レシピファイル変換処理を開始しても、下記の信号は自動でOFFされません。

- ・ レシピ共通書き込み完了通知信号
- ・ レシピ共通読み出し完了通知信号

GOT1000シリーズのプロジェクトデータにて、レシピファイル変換処理を実施する事で、レシピ共通書き込み完了通知信号、レシピ共通読み出し完了通知信号をOFFさせるように画面設計している場合、次の対処が必要です。

- ・ レシピファイル変換処理を実施するトリガが成立すると同時に、レシピ共通書き込み完了通知信号、レシピ共通読み出し完了通知信号をOFFする処理を、変換後のプロジェクトデータに追加

## 3.3 作画ソフトウェア仕様

GOT1000シリーズで使用していたプロジェクトデータは、GOT2000シリーズ用のプロジェクトデータに変換して、そのまま使用できます。

## 【注意事項】

本説明は、GT Works3 Version1.153Hで説明しています。

GOT2000シリーズに変換したプロジェクトデータをGOT1000シリーズ用のプロジェクトデータに変換することはできません。

### 3.3.1 プロジェクトデータ変換前の準備

以下のソフトウェアをパソコンにインストールする必要があります。

(1) GOT1000シリーズ用のプロジェクトデータをGOTから読み出す場合

GT Works3 Version1.153H以降の「GT Designer3(GOT1000)」または「データ転送ツール」をインストール

※パソコンに既存のプロジェクトデータがある場合は不要です。

(2) GOT2000シリーズ用のプロジェクトデータに変換する場合

GT Works3 Version1.153H以降の「GT Designer3(GOT2000)」をインストール

インストールの方法については、以下を参照してください。(三菱電機FAサイトにてダウンロードできます)

- ・ GT Works3インストール手順書(DVD版) (BCN-P5999-0065)

古いバージョンをお持ちのお客様は、三菱電機FAサイトにて最新版をダウンロードしてください。

### 3.3.2 プロジェクトデータ変換手順

① パソコンに既存データがある場合は、GOT1000シリーズ用のプロジェクトデータの格納場所を確認します。パソコンに既存データがない場合は、GOT1000シリーズとパソコンを接続して、「GT Designer3(GOT1000)」または「データ転送ツール」でプロジェクトデータを読み出し、保存します。

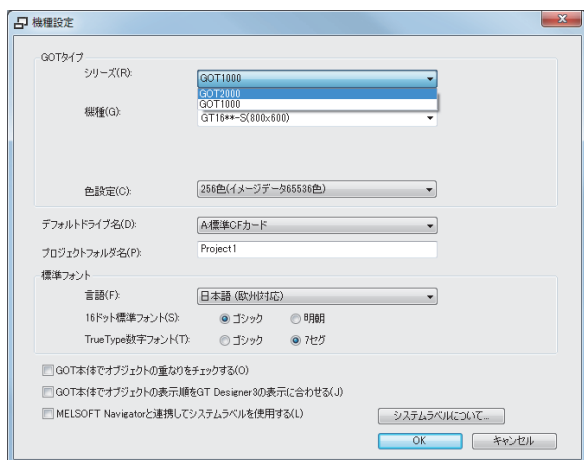
② 「GT Designer3(GOT2000)」で①のプロジェクトデータを開き、「GOT2000データに変換し、GT Designer3(GOT2000)で編集する)」を選択します。

※ GOT1000シリーズ用のプロジェクトデータを開く場合は、「GT Designer3(GOT1000)」を起動しGOT1000データのまま編集する」を選択してください。

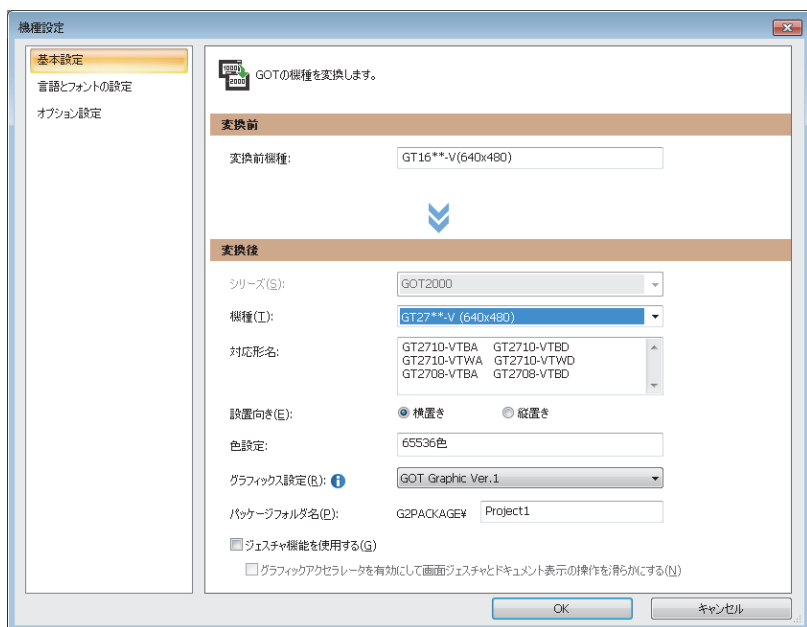


[発行番号] GOT-D-0061-J

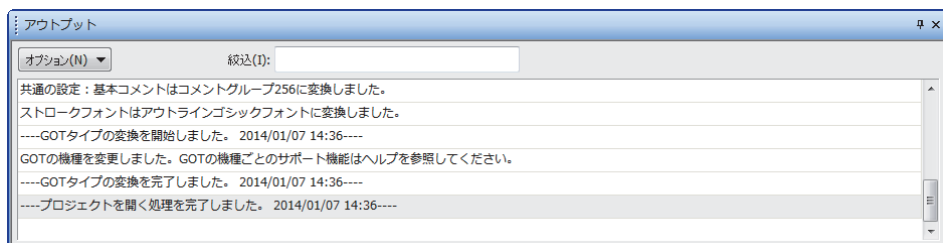
①のプロジェクトデータを「GT Designer3 (GOT1000)」で開いている場合は、[共通の設定]－[GOT機種設定]で、GOTタイプのシリーズで「GOT2000」を選択して「OK」を押下します。



③ 置き換え後のGOT2000の機種を選択し「OK」を押下します。



④ GOT2000シリーズ用のプロジェクトデータに変換され、「GT Designer3 (GOT2000)」が起動します。アウトプットウィンドウで変換内容を確認できます。





[発行番号] GOT-D-0061-J

### 3.3.3 対応していない作画機能

以下の作画機能には対応していません。

区分	作画機能	GT16	GT15	GT27	GT25	GOT1000→GOT2000置き換え時の注意事項
作画ソフトウェア	作画ソフトウェア-GOT間通信形態(モデム, RS-232)	●	●	×	×	[注意事項] 作画ソフトウェア(パソコン)-GOT間のモデム接続, RS-232接続には対応していません。USB, Ethernetで接続してください。

#### 【注意事項】

GOT2000シリーズで対応していない機能は、GOT1000シリーズからGOT2000シリーズへの変換時に設定が削除されますので、ご注意ください。GOT2000シリーズとGOT1000シリーズの機能の互換性については、3.2項を参照してください。

### 3.3.4 その他の主な変更点

作画機能における主な変更点は以下のとおりです。

#### (1) OS(基本機能OS, 拡張機能OS)の名称

以下のように名称を変更しました。GOT2000では、システムアプリケーション, プロジェクトデータ, 通信ドライバなど、GOTの動作に必要なデータをまとめて「パッケージデータ」と呼びます。

GOT1000での名称	GOT2000での名称
OS	システムアプリケーション
基本機能OS	基本システムアプリケーション
拡張機能OS	拡張システムアプリケーション

#### (2) 標準フォントの名称

以下のように標準フォントの名称, 種類を変更しました。

GOT1000での名称	GOT1000→GOT2000変換時の名称および注意事項
日本語 *1	日本語 *3 ※GOT1000の「日本語 (欧州対応)」相当に置き換わります。
日本語 (欧州対応) *2	日本語 *3
中国語 (簡体) *1	中国語 (簡体) *3 ※GOT1000の「中国語 (簡体) (欧州対応)」相当に置き換わります。
中国語 (簡体) (欧州対応) *2	中国語 (簡体) *3
中国語 (繁体) (欧州対応) *2	中国語 (繁体) *3

\*1 欧州文字(ラテン1補助, ラテン拡張A, 基本ギリシャ, キリル)は全角で表示します。

\*2 欧州文字(ラテン1補助, ラテン拡張A, 基本ギリシャ, キリルの一部)は半角で表示します。

\*3 欧州文字(ラテン1補助, ラテン拡張A, ラテン拡張B, IPA拡張, ラテン拡張追加, 基本ギリシャ, ギリシャ拡張, キリルの一部)は半角で表示します。

[発行番号] GOT-D-0061-J

### (3) GOTのドライブ構成

以下のようにドライブの名称と種類（媒体）に違いがあります。

ドライブ名称	ドライブの種類		
	GT16	GT15	GT27, GT25
Aドライブ	標準CFカード	標準CFカード	標準SDカード
Bドライブ	拡張メモリカード	拡張メモリカード	背面USB
Cドライブ	内蔵フラッシュメモリ	内蔵フラッシュメモリ	内蔵フラッシュメモリ
Dドライブ	—	—	—
Eドライブ	前面USB	—	前面USB(ホワイトモデルは除く)
Fドライブ	—	—	USB(装着順に割付)
Gドライブ	—	—	USB(装着順に割付)
Xドライブ (カレントドライブ)	—	—	プロジェクトを起動しているドライブを指します。 (ただし、Cドライブから起動時は、Aドライブを示します)

### (4) データの格納先

以下のようにデータの格納先に違いがあります。

データの種類	格納先のドライブ		
	GT16	GT15	GT27, GT25
OS	A, Cドライブ		パ ツ ケ ー ジ デ ー タ
プロジェクトデータ	A, B, Cドライブ ※OSをAドライブに格納時は、Aドライブのみ。		
特殊データ	A, Cドライブ ※OSをAドライブに格納時は、Aドライブのみ。		
リソースデータ	A, B, C, Eドライブ ※種類によって格納先が異なります。		A, B, E, F, Gドライブ

### (5) 接続機器設定

GOT1000シリーズ用作画ソフトウェアで以下の通信ドライバを設定している場合は、設定が削除されますので、GOT2000シリーズ用作画ソフトウェアで再度設定してください。

メーカー	機種	ドライバ	備考
三菱電機	MELSEC-QnA/Q/QS, MELDAS C6*	MELSECNET/10	設定が削除されます。GOT2000シリーズ用作画ソフトウェアで再度設定してください。 ※GOT2000ではMELSECNET/H(NET/10モード)での接続となります。
		CC-Link(ID)	設定が削除されます。GOT2000シリーズ用作画ソフトウェアで再度設定してください。

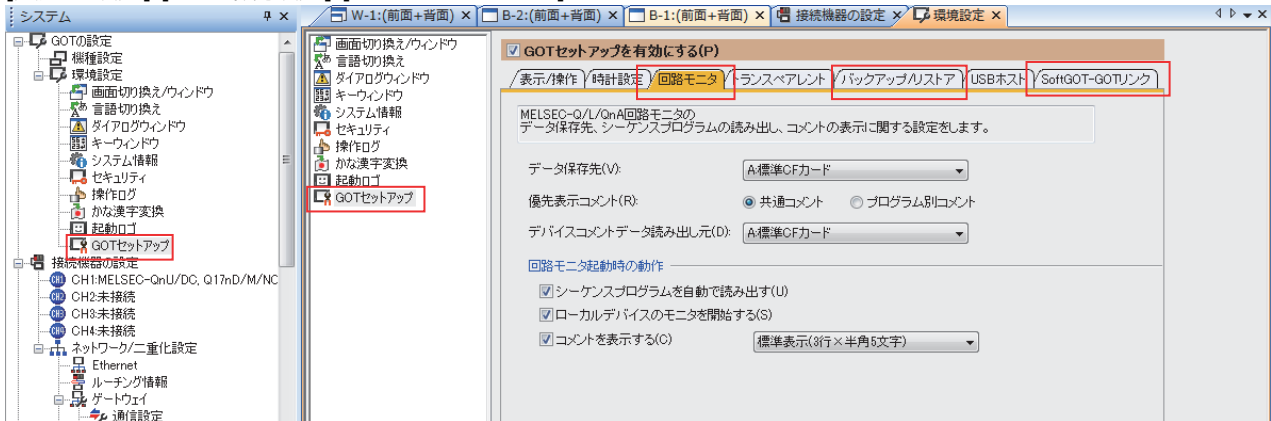
[発行番号] GOT-D-0061-J

(6) GOTセットアップ設定(回路モニタ, バックアップ/リストア, SoftGOT-GOTリンク)

GOT2000シリーズ用作画ソフトウェアでは設定箇所が異なります。また、設定内容によりGOT1000での設定が削除されますので、GOT2000シリーズ用作画ソフトウェアでご確認の上、必要に応じて再度設定してください。

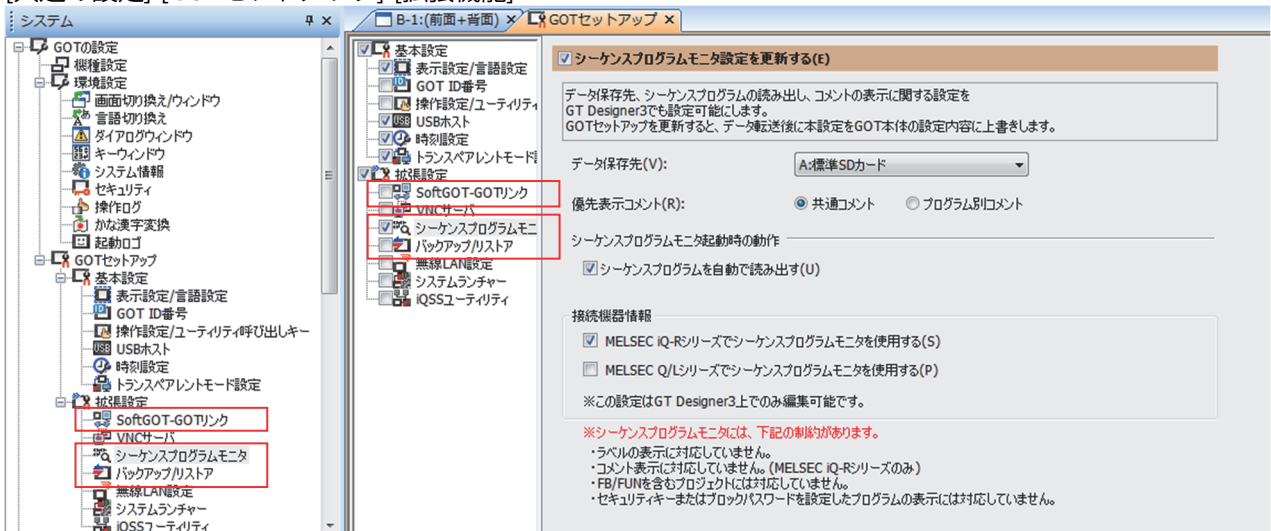
GOT1000シリーズ用作画ソフトウェア「GT Designer3(GOT1000)」の設定箇所

[共通の設定]-[GOT環境設定]-[GOTセットアップ]



GOT2000シリーズ用作画ソフトウェア「GT Designer3(GOT2000)」の設定箇所

[共通の設定]-[GOTセットアップ]-[拡張機能]



※GOT本体のユーティリティからも設定できます。

[発行番号] GOT-D-0061-J

## (7) ユーティリティ呼出キーの設定

設定内容によりGOT1000での設定が一部削除されますので、GOT2000シリーズ作画ソフトウェアでご確認の上、必要に応じて再度設定してください。

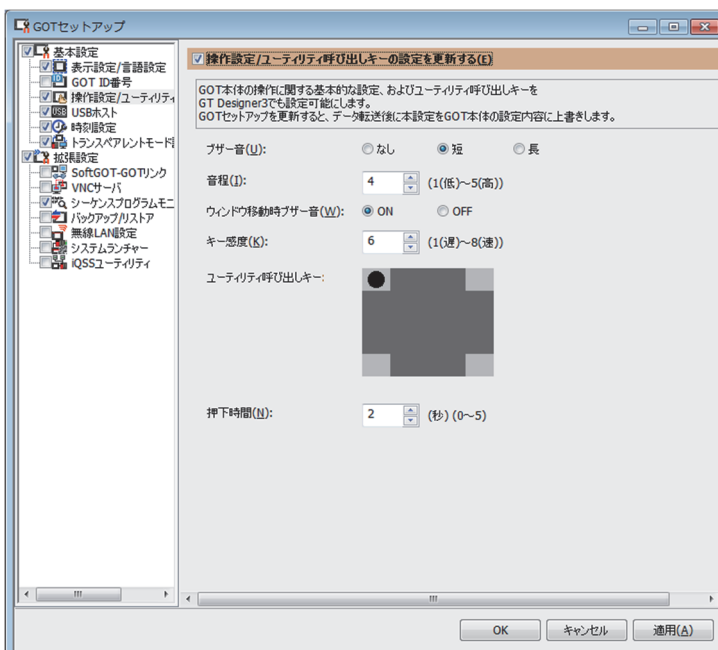
GOT1000での設定	GOT1000→GOT2000変換時の注意事項
1点設定の場合	変更ありません。
2点設定の場合	以下の優先順位で1点のみの設定となります。 左上→右上→左下→右下

## GOT1000シリーズ作画ソフトウェア「GT Designer3(GOT1000)」での設定 [共通の設定]-[GOT環境設定]-[GOTセットアップ]-[表示/操作]タブ



## GOT2000シリーズ作画ソフトウェア「GT Designer3(GOT2000)」での設定 [共通の設定]-[GOTセットアップ]-[基本設定]-[操作設定/ユーティリティ呼出キー]

※GOT1000で2点(左上と右上)を設定している場合、GOT2000に変換すると1点(左上)のみの設定となります。



[発行番号] GOT-D-0061-J

## (8) オフセット値に関する設定

オフセットを使用している、かつ以下の条件を満たす場合、オフセットデバイスに格納する値を変更する必要があります。

### 1) 変更が必要な条件

条件	パターン1	パターン2
接続機器	オムロン社製シーケンサ	ALLEN-BRADLEY製シーケンサ ※但し、Control/Compact/FlexLogixは除く
接続形態	シリアル接続, Ethernet接続	シリアル接続, Ethernet接続
オフセット対象のデバイス	ビットデバイス (..., LR, HR, WR, AR)	ビットデバイス (B)

### 2) パターン1

#### a) 変更方法

オフセットデバイスに格納する値は、以下に示す計算式で算出できます。算出後の値をオフセットデバイスに格納してください。

$$\text{GOT2000シリーズのオフセット値} = (\text{GOT1000シリーズのオフセット値}) / 100 \times 16 + (\text{GOT1000シリーズのオフセット値}) \% 100$$

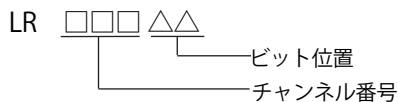
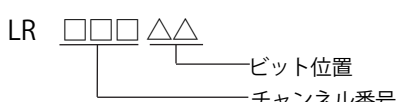
※ %は剰余算 (a%bはaをbで割った余り)

例) LR00000デバイスのオフセット値の例について以下に示します。

GOT上のオブジェクト設定	オフセット後のデバイス番号	GOT1000シリーズのオフセット値 (10進数)	GOT2000シリーズのオフセット値 (10進数) (計算式にて算出)
LR00000	LR00010	10	10
	LR00100	100	16
	LR00310	310	58
	LR010000	10000	1600

#### b) ビットデバイス (..., LR, HR, WR, AR) のオフセットの考え方差異

GOT1000シリーズは、デバイス表記 (チャンネル番号とビット位置) に合わせた値を設定する仕様でした。GOT2000シリーズでは、ビットデバイスを連続性のあるものと考え、チャンネル番号を意識しない値を設定する仕様になります。GOT1000シリーズとGOT2000シリーズのビットデバイス表現を以下に示します。

GOT1000シリーズ	GOT2000シリーズ
<p>例) LRデバイス</p>  <p>オフセット値の下2桁は、ビット位置のオフセット値となります。0～15までが有効、16～99はシステムアラーム322「指定デバイスNo.が範囲外です。使用可能範囲を確認して下さい。」を表示します。オフセット値の下2桁を除く値は、チャンネル番号のオフセット値となります。</p>	<p>例) LRデバイス</p>  <p>ビット位置が16増えるごとに、チャンネル番号が1繰り上がります。</p>

[発行番号] GOT-D-0061-J

例) GOT1000シリーズ, GOT2000シリーズの具体例を以下に示します。

オフセットの内容	モニタデバイスの指すデバイス	
	GOT1000シリーズ	GOT2000シリーズ
オフセット値=0 (オフセット無し)	LR00000	LR00000
オフセット値=1	LR00001	LR00001
オフセット値=15	LR00015	LR00015
オフセット値=16	322 (範囲外エラー)	LR00100
オフセット値=100	LR00100	LR00604
オフセット値=115	LR00115	LR00703

## 2) パターン2

### a) 変更方法

オフセットデバイスに格納する値は, 以下に示す計算式で算出できます。算出後の値をオフセットデバイスに格納してください。

**GOT2000シリーズのオフセット値 = (GOT1000シリーズのオフセット値) × 16**

例) Bデバイスのオフセット値の例について以下に示します。

GOT上のオブジェクト設定	オフセット後のデバイス番号	GOT1000シリーズのオフセット値 (10進数)	GOT2000シリーズのオフセット値 (10進数) (計算式にて算出)
B3:0/0	B3:1/0	1	16

### b) ビットデバイス (B) のオフセットの考え方差異

GOT1000シリーズは, ワードデバイスとしてのビット(B)と同様のオフセットとなるようエレメント番号に対して行っていました。GOT2000シリーズでは, ビット(B)はビットデバイスで扱うものと考え, ビット単位でオフセット可能とする仕様となります。

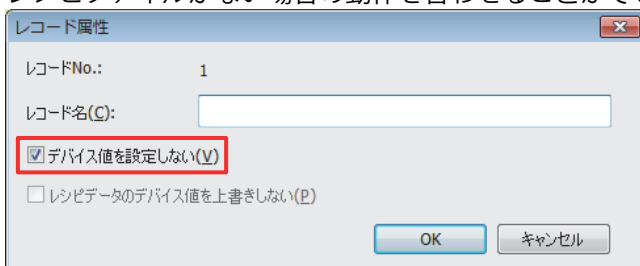
## (9) レシピファイルがない場合の動作

GOT1000シリーズのプロジェクトデータをGOT2000シリーズに変換した場合, レシピ機能はGOT2000シリーズのレシピ機能に置き換わります。ただし, 下記の設定のプロジェクトデータを変換した場合, デバイス値を書き込み時にレシピファイルがないときの動作が, GOT2000シリーズとGOT1000シリーズとで異なります。

- ・ [レシピファイルを使用する(書き込み・読み出しを実行)]を選択
- ・ [起動時にレシピファイルがない場合, このダイアログで設定した値でレシピファイルを作成する]にチェックなし

GOT2000シリーズとGOT1000シリーズとで動作を合わせる場合, プロジェクトデータを変換後, 下記の設定をしてください。

- ・ [レシピ]ダイアログから[レコード属性]ダイアログを表示し, [デバイス値を設定しない]にチェックをするレコードにデバイス値を設定しないようにすることで, レシピ対象デバイス一覧で設定したデバイスにレコードの値を書き込まない設定となります。GOT1000シリーズで上記の設定をしていた場合, デバイス値を書き込み時にレシピファイルがない場合の動作を合わせることができます。



[発行番号] GOT-D-0061-J

## (10) Q二重化設定

GOT1000シリーズ用作画ソフトウェアで以下の機種を選択し、Q二重化設定をしている場合、GOT2000シリーズ用作画ソフトウェアでは設定が削除されます。

GOT2000シリーズ用作画ソフトウェアにてMELSEC二重化設定に対応している機種に変更後、あらためてMELSEC二重化設定を追加してください。

メーカー	機種	備考
三菱電機	MELSEC-QnA/Q/QS, MELDAS C6* MELSEC-QnA/Q, MELDAS C6*	GOT1000シリーズ用作画ソフトウェアで以下の機種に変更後、プロジェクトデータをGOT2000シリーズ用作画ソフトウェアで変換した場合、MELSEC二重化設定は削除されません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• MELSEC-QnU/DC, Q17nD/M/NC/DR, CRnD-700</li> <li>• MELSEC-QnU/DC, Q17nD/M/NC/DR</li> <li>• MELSEC-QnU/DC, Q17nNC/DR, CRnD-700</li> <li>• MELSEC-Q(マルチ)/Qモーション</li> </ul>

## 3.4 SoftGOT仕様

GT SoftGOT1000の機能のほとんどをGT SoftGOT2000でそのまま使用できますが、一部機能については非対応、および、機能統合、機能名称を変更しています。「表3-10 GOT2000機能仕様比較」および「表3-11 GT SoftGOT2000機能仕様比較」を参照してください。

表3-11 GT SoftGOT2000機能仕様比較

区分	機能	GT SoftGOT 1000	GT SoftGOT 2000	GT SoftGOT1000 → GT SoftGOT2000 置き換え時の注意事項
SoftGOT	ライセンスキー	●	●	[注意事項] ライセンスキーが異なりますので、別途ご購入ください。 パラレルポート用ライセンスキーはありません。
	PX Developerモニタツールとの連携	●	● Ver1.105K 以降	-
	[ツール]-[システムアラーム]メニューから表示のシステムアラーム	●	×	[注意事項] GT SoftGOT2000の場合、ユーティリティにてシステムアラームを確認してください。



## 3.5 その他

### 3.5.1 PX Developerの「GOT画面生成機能」について

PX Developerでの「GOT画面生成機能」では、GOT1000シリーズ用のプロジェクトデータが自動生成されますので、自動生成されたデータを「GT Designer3(GOT2000)」でGOT2000シリーズ用に変換してご使用ください。

### 3.5.2 マニュアル

GOT2000シリーズのマニュアルでは、GOT1000シリーズからマニュアル自体の名称、構成している内容に違いがあります。

GOT1000シリーズのマニュアル	GOT2000シリーズのマニュアル
GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル(共通編)	GT Designer3 (GOT2000) 画面設計マニュアル
GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル(作画編)	
GT Simulator3 Version1 操作マニュアルGT Works3 対応	
GOT1000 シリーズゲートウェイ機能マニュアルGT Works3 対応	
GT Converter2 Version3 操作マニュアルGT Works3 対応	GT Converter2 Version3 操作マニュアル GT Works3対応
GOT1000 シリーズ接続マニュアル(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応	GOT2000シリーズ接続マニュアル(三菱電機機器接続編) GT Works3 Version1対応
GOT1000 シリーズ接続マニュアル(他社機器接続編1) GT Works3 対応	GOT2000シリーズ接続マニュアル(他社機器接続編1) GT Works3 Version1対応
GOT1000 シリーズ接続マニュアル(他社機器接続編2) GT Works3 対応	GOT2000シリーズ接続マニュアル(他社機器接続編2) GT Works3 Version1対応
GOT1000 シリーズ接続マニュアル(マイコン・MODBUS・周辺機器接続編) GT Works3 対応	GOT2000シリーズ接続マニュアル(マイコン・MODBUS/フィールドバス・周辺機器接続編) GT Works3 Version1対応
GOT1000 シリーズMES インタフェース機能マニュアルGT Works3 対応	GOT2000シリーズMESインタフェース機能マニュアル GT Works3 Version1対応
GT SoftGOT1000 Version3 操作マニュアルGT Works3 対応	GT SoftGOT2000 Version1 操作マニュアル
GOT1000 シリーズ本体取扱説明書(拡張機能・オプション機能編) GT Works3 対応	GOT2000シリーズ本体取扱説明書(モニタ編)
GT16 本体 取扱説明書(ハードウェア詳細編)	GOT2000シリーズ本体取扱説明書(ハードウェア編)
GT16 ハンディGOT 本体 取扱説明書	GOT2000シリーズ ハンディGOT接続マニュアル GT Works3 Version1対応
GT15 本体 取扱説明書	
GT16 本体 取扱説明書(基本ユーティリティ編)	GOT2000シリーズ本体取扱説明書(ユーティリティ編)



## 改訂履歴

副番	発行年月	改訂内容
*	2014年 2月	・ 初版発行
A	2014年 5月	・ GT2715-XTBA, GT2715-XTBDに対応 ・ GT25モデルに対応
B	2014年11月	・ GT2512-STBA, GT2512-STBDに対応 ・ Rモーションモニタ, 縦置き表示, CNCモニタ, CNCデータ入出力, CNC加工プログラム編集に対応 ・ オムロン社製シーケンサを使用時のオフセットについての注意事項を追加 ・ 「3.1.7 2点押しスイッチ配置時の注意」を見直した
C	2016年 8月	・ GT2705-VTBDに対応 ・ GT27-R2, GT27-ROUTに対応 ・ GT15機種の生産終了機種を追加 ・ 「2章 置き換え機種」, 「3章 仕様比較」を見直した
D	2018年 3月	・ GT2712-STBA-EX, GT2712-STBD-EX, GT2505-VTBD, GT2506HS-VTBDに対応
E	2018年11月	・ 誤記訂正 ・ 「3.5.2 マニュアル」を追加
F	2019年 2月	・ 誤記訂正
G	2019年 9月	・ 「3.2.2 機能仕様比較詳細」に注意事項を追加 ・ 「3.3.4 その他の主な変更点」に記載を追加
H	2020年12月	・ 誤記訂正 ・ 生産終了品に生産終了の記載を追加
I	2021年 7月	・ 「3.2.2 機能仕様比較詳細」に注意事項を追加 ・ 「3.3.4 その他の主な変更点」に記載を追加
J	2023年11月	・ 誤記訂正

[発行番号] GOT-D-0061-J

## 三菱電機株式会社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)

お問い合わせは下記へどうぞ

本社機器営業部	〒110-0016	東京都台東区台東1-30-7 (秋葉原アイマークビル)	(03) 5812-1450
関越機器営業部	〒330-6034	さいたま市中央区新都心11-2 (明治安田生命さいたま新都心ビル)	(048) 600-5835
新潟支店	〒950-8504	新潟市中央区東大通2-4-10 (日本生命新潟ビル)	(025) 241-7227
神奈川機器営業部	〒220-8118	横浜市西区みなとみらい2-2-1 (横浜ランドマークタワー)	(045) 224-2624
北海道支社	〒060-0042	札幌市中央区大通西3-11 (北洋ビル)	(011) 212-3793
東北支社	〒980-0013	仙台市青葉区花京院1-1-20 (花京院スクエア)	(022) 216-4546
北陸支社	〒920-0031	金沢市広岡3-1-1 (金沢パークビル)	(076) 233-5502
中部支社	〒450-6423	名古屋市中村区名駅3-28-12 (名古屋ビルデング)	(052) 565-3314
豊田支店	〒471-0034	豊田市小坂本町1-5-10 (矢作豊田ビル)	(0565) 34-4112
関西支社	〒530-8206	大阪市北区大深町4-20 (グランフロント大阪タワーA)	(06) 6486-4122
中国支社	〒730-8657	広島市中区中町7-32 (ニッセイ広島ビル)	(082) 248-5348
四国支社	〒760-8654	高松市寿町1-1-8 (日本生命高松駅前ビル)	(087) 825-0055
九州支社	〒810-8686	福岡市中央区天神2-12-1 (天神ビル)	(092) 721-2247

三菱電機 FA

検索

[www.MitsubishiElectric.co.jp/fa](http://www.MitsubishiElectric.co.jp/fa)

メンバー登録無料!

インターネットによる情報サービス「三菱電機FAサイト」

三菱電機FAサイトでは、製品や事例などの技術情報に加え、トレーニングスクール情報や各種お問い合わせ窓口をご提供しています。また、メンバー登録いただくマニュアルやCADデータ等のダウンロード、eラーニングなどの各種サービスをご利用いただけます。

**電話技術相談窓口** 受付時間 \*1 月曜～金曜 9:00～19:00、土曜・日曜・祝日 9:00～17:00

対象機種	電話番号	自動窓口案内 選択番号*1	対象機種	電話番号	自動窓口案内 選択番号*1	
自動窓口案内	052-712-2444	—	SCADA GENESIS64™	052-712-2962 *2*6	—	
エッジコンピューティング 製品	052-712-2370 *2	8	MELSERVOシリーズ		1→2	
MELSOFT MailLab	052-712-2370 *2		位置決めユニット (MELSEC iQ-R/Q/Lシリーズ)		1→2	
MELSEC iQ-R/Q/Lシーケンサ (CPU内蔵Ethernet機能などネットワークを除く)	052-711-5111	2→2	モーションユニット (MELSEC iQ-R/iQ-Fシリーズ)		1→1	
MELSOFT GXシリーズ(MELSEC iQ-R/Q/L/QnAS/Ans)			モーションソフトウェア		1→1	
MELSEC iQ-F/FXシーケンサ全般	052-725-2271 *3	2→1	シンプルモーションユニット (MELSEC iQ-R/iQ-F/Q/Lシリーズ)	052-712-6607	1→2	
MELSOFT GXシリーズ(MELSEC iQ-F/FX)			モーションコントローラ/ センシングユニット/ 組み込み型サーボシステム コントローラ		1→1	
ネットワークユニット (CC-Linkファミリー/MELSECNET/Ethernet/シリアル通信)	052-712-2578	2→3	シンプルモーションCPU (MELSEC iQ-R/Qシリーズ)		1→1	
MELSOFT 統合エンジニアリング環境	MELSOFT Navigator/ MELSOFT Update Manager	2→6	センシングユニット (MR-MTシリーズ)		1→2	
iQ Sensor Solution			シンプルモーションボード/ ポジションボード		1→2	
MELSOFT 通信支援ソフトウェアツール	MELSOFT MXシリーズ		MELSOFT MTシリーズ/ MRシリーズ/EMシリーズ		1→2	
MELSECバスコンボード	Q80BDシリーズなど	2→4	センサレスサーボ	FR-E700EX/MM-GKR	052-722-2182	
WinCPUユニット/C言語コントローラ/ C言語インテリジェント機能ユニット			インバータ	FREQROLシリーズ	052-722-2182	
MESインタフェースユニット/高速データロガーユニット/ 高速データコミュニケーションユニット/ OPC UAサーバユニット	052-799-3592 *2	2→5	三相モータ	三相モータ225フレーム以下	0536-25-0900 *2*4	
システムレコーダ			産業用ロボット	MELFAシリーズ	052-721-0100 *8	
MELSEC計装/iQ-R/ Q二重化	プロセスCPU/二重化機能 SIL2プロセスCPU (MELSEC iQ-Rシリーズ)	052-712-2830 *2*3	2→7	電磁クラッチ・ブレーキ/テンションコントローラ	052-712-5430 *5	
	プロセスCPU/二重化CPU (MELSEC-Qシリーズ)			低圧開閉器	MS-Tシリーズ/MS-Nシリーズ US-Nシリーズ	052-719-4170 *8
	MELSOFT PXシリーズ			低圧遮断器	ノーヒューズ遮断器/ 漏電遮断器/MDUブレーカ/ 気中遮断器 (ACB) など	052-719-4559 *8
MELSEC Safety	安全シーケンサ (MELSEC iQ-R/QSシリーズ)	052-712-3079 *2*3	2→8	電力管理用計器	電力量計/計器用変成器/ 指示電気計器/ 管理用計器/タイムスイッチ	052-719-4556 *8
	安全コントローラ (MELSEC-WSシリーズ)			省エネ支援機器	EcoServer/E-Energy/ 検針システム/ エネルギー計測ユニット/ B/NETなど	052-719-4557 *2*3
電力計測ユニット/ 絶縁監視ユニット	QEシリーズ/REシリーズ	052-719-4557 *2*3	2→9	小容量UPS (5kVA以下)	FW-Sシリーズ/FW-Vシリーズ/ FW-Aシリーズ/FW-Fシリーズ	052-799-9489 *2*6
FAセンサ MELSENSOR	レーザ変位センサ					
	ビジョンセンサ	052-799-9495 *2	6			
	コードリーダー					
表示器 GOT	GOT2000/1000シリーズ	052-712-2417	4→1			
	MELSOFT GTシリーズ		4→2			

お問い合わせの際には、今一度電話番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願いいたします。  
 なお、電話技術相談窓口の最新情報 は、「三菱電機FAサイト」<[www.MitsubishiElectric.co.jp/fa](http://www.MitsubishiElectric.co.jp/fa)>でご確認ください。  
 ※1：春季・夏季・年末年始の休日を除く ※2：土曜・日曜・祝日を除く ※3：金曜は17:00まで  
 ※4：月曜～木曜の9:00～17:00と金曜の9:00～16:30 ※5：受付時間9:00～17:00 (土曜・日曜・祝日・当社休日を除く)  
 ※6：月曜～金曜の9:00～17:00  
 ※7：選択番号の入り方は、自動窓口案内冒頭のお客様相談内容に関する代理店、商社への提供可否確認の回答後 にお問い合わせいたします。  
 ※8：日曜を除く

**安全に関するご注意**

本テクニカルニュースに記載された製品を正しくお使いいただくためご使用前に必ず「マニュアル」をよくお読みください。